

委 託 業 務 設 計 書

施 行 年 度	2019年度	契 約 番 号	建設部 道路河川課		
		2019000633			
業 務 名	2019年度 社会資本整備総合交付金事業 橋梁長寿命化修繕計画策定事業 橋梁点検業務委託 阿山・伊賀工区				設 計 番 号
					31-39-0042-3-012
履 行 場 所	伊賀市 阿山・伊賀管内 地内				設 計 ・ 積 算 年 月 日
業 務 区 分	設計業務				積 算 者
					検 算 者
設 計 金 額	円 内消費税相当額 円				
工 期	契約日から130 日	延 長	m	幅 員	m
業 務 の 大 要					起 工 理 由
橋梁点検 橋梁点検 (L=15.0m未満) 42 橋 橋梁点検 (L=15.0m以上) 33 橋 健全度評価 (L=15.0m未満) 42 橋 健全度評価 (L=15.0m以上) 33 橋					別 紙

設 計 内 訳 表

費目	工種	種別	細別	単位	数量	単価	金額	摘要
設計・解析・調査業務								
01:設計・解析・調査								
橋梁点検業務委託				式				
					1.000			
直接人件費				式				第 0001 号 明細表
					1.000			
旅費交通費				式				第 0002 号 明細表
					1.000			
直接経費 (成果品作成費分)				式				
					1.000			
直接原価				式				
					1.000			
その他原価				式				
					1.000			
業務原価				式				
					1.000			

設 計 内 訳 表

費目	工種	種別	細別	単位	数量	単価	金額	摘要
一般管理費等				式				
					1.000			
設計・解析・調査業務価格				式				
					1.000			
消費税及び地方消費税相当額				式				
					1.000			
業務委託料				式				
					1.000			

[設計・解析・調査]

第 0001 号 明細表 直接人件費					1 式
					(上段 : 前 回 下段 : 今 回)
名 称 規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
業務計画書作成 (100橋未満)	業務				第0001号単価表
		1.000			
図面作成	橋				第0002号単価表
		75.000			
現地踏査	橋				第0003号単価表
		75.000			
橋梁点検 橋長15m未満 梯子	橋				第0004号単価表
		42.000			
橋梁点検 橋長15m以上 梯子	橋				第0005号単価表
		33.000			
健全度評価(15m未満)	橋				第0006号単価表
		42.000			
健全度評価(15m以上)	橋				第0007号単価表
		33.000			
点検調書作成	橋				第0008号単価表
		75.000			

[設計・解析・調査]

第 0001 号 明細表 直接人件費					1 式	
					(上段 : 前 回 下段 : 今 回)	
名 称	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
打合せ協議		業務				第0009号単価表
			1.000			
関係機関協議		橋				第0010号単価表
			1.000			
合 計						

第 0002 号 明細表 旅費交通費					1 式	
					(上段 : 前 回 下段 : 今 回)	
名 称	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
ライトバン運転		日				第0001号施工単価表
合 計						

ライトバン運転

第 0001 号 施工単価表
1.000 日 当り

名 称	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
ガソリン レギュラー80オクタン価以上	リットル				
ライトバン	時間				
ライトバン	日				
雑品	式	1.000			
合計	日	1.000			
単位当り	日	1.000	当り		

SJ0010 業務計画書作成 (100橋未満)		第 0001 号単価表 1 業務 当り			
名 称	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
主任技師	人				
技師 (A)	人				
技師 (C)	人				
技術員	人				
合 計	業務	1.000			
単位当り	業務	1.000	当り		

SJ0020 図面作成		第 0002 号単価表 10 橋 当り			
名 称	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
技師 (B)	人				
技師 (C)	人				
合 計	橋	10.000			
単位当り	橋	1.000	当り		

SJ0030 現地踏査		第 0003 号単価表 10 橋 当り			
名 称	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
技師 (B)	人				
技師 (C)	人				
技術員	人				
合 計	橋	10.000			
単位当り	橋	1.000	当り		

SJ0050 橋梁点検 橋長15m未満 梯子		第 0004 号単価表 10 橋 当り			
名 称	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
技師 (B)	人				
技師 (C)	人				
技術員	人				
合 計	橋	10.000			
単位当り	橋	1.000	当り		

SJ0100 橋梁点検 橋長15m以上 梯子		第 0005 号単価表 10 橋 当り			
名 称	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
技師 (B)	人				
技師 (C)	人				
技術員	人				
合 計	橋	10.000			
単位当り	橋	1.000	当り		

SJ0080 健全度評価(15m未満)		第 0006 号単価表 10 橋 当り			
名 称	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
主任技師	人				
技師 (A)	人				
技師 (B)	人				
技師 (C)	人				
技術員	人				
合 計	橋	10.000			
単位当り	橋	1.000	当り		

SJ0120 健全度評価(15m以上)		第 0007 号単価表 10 橋 当り			
名 称	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
主任技師	人				
技師 (A)	人				
技師 (B)	人				
技師 (C)	人				
技術員	人				
合 計	橋	10.000			
単位当り	橋	1.000	当り		

SJ0060 点検調書作成		第 0008 号単価表				10 橋 当り
名 称	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要	
技師 (B)	人					
技師 (C)	人					
技術員	人					
合 計	橋	10.000				
単位当り	橋	1.000	当り			

SJ0070 打合せ協議		第 0009 号単価表 1 業務 当り			
名 称	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
主任技師	人				
技師 (B)	人				
技師 (C)	人				
合 計	業務	1.000			
単位当り	業務	1.000	当り		

SJ0140 関係機関協議		第 0010 号単価表				10 橋 当り
名 称	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要	
技師 (B)	人					
技師 (C)	人					
技術員	人					
合 計	橋	10.000				
単位当り	橋	1.000	当り			

2019年度 社会資本整備総合交付金事業

橋梁長寿命化修繕計画策定事業 橋梁点検業務委託

阿山・伊賀 工区

数量計算書

2019年度 社会資本整備装具交付金事業 橋梁長寿命化修繕計画策定事業 橋梁点検業務委託
(橋長15m未満)

番号	作業用番号	施設名	施設名 フリガナ	路線名	架設年度	橋長(m)	径間数	幅員(m)	起点側位置 緯度	起点側位置 経度	備考
1	BR0-242161-00027	無名第2橋	(ムメダイ2ハシ)	市道旧国道25号線	1954	5.3	1	4.6	34.811272度	136.184044度	梯子
2	BR0-242161-00028	無名第16橋	(ムメダイ16ハシ)	市道旧国道25号線	1961	4	1	5	34.812211度	136.184972度	梯子
3	BR0-242161-00030	無名第4橋	(ムメダイ4ハシ)	市道旧国道25号線	1954	2.9	1	5.3	34.815555度	136.191388度	梯子
4	BR0-242161-00031	無名第5橋	(ムメダイ5ハシ)	市道旧国道25号線	1954	3	1	5	34.816388度	136.194166度	梯子
5	BR0-242161-00033	無名第17橋	(ムメダイ17ハシ)	市道旧国道25号線	1932	3	1	4.8	34.821666度	136.204722度	梯子
6	BR0-242161-00035	無名第8橋	(ムメダイ8ハシ)	市道旧国道25号線	1955	2.2	1	7.6	34.820833度	136.212777度	梯子
7	BR0-242161-00036	屋形橋	(ヤガタハシ)	市道旧国道25号線	1961	4	1	5	34.820555度	136.213888度	梯子
8	BR0-242161-00038	無名第10橋	(ムメダイ10ハシ)	市道旧国道25号線	1957	2.7	1	3.4	34.830555度	136.222777度	梯子
9	BR0-242161-00039	無名第11橋	(ムメダイ11ハシ)	市道旧国道25号線	1957	2.4	1	5	34.830833度	136.224722度	梯子
10	BR0-242161-00041	百々橋	(トトハシ)	市道旧国道25号線	1949	4	1	5.3	34.841666度	136.251111度	梯子
11	BR0-242161-00043	無名第13橋	(ムメダイ13ハシ)	市道旧国道25号線	1960	4.1	1	5.3	34.841944度	136.260000度	梯子
12	BR0-242161-00626	無名第1橋	(ムメダイ1ハシ)	市道奥中山線	1960	2.1	1	3.3	34.847500度	136.256111度	梯子
13	BR0-242161-00627	無名第1橋	(ムメダイ1ハシ)	市道打越線	1933	5	1	3	34.845000度	136.245833度	梯子
14	BR0-242161-00631	無名第1橋	(ムメダイ1ハシ)	市道倉部宮之前線	1960	8.4	2	1.2	34.847500度	136.239722度	梯子
15	BR0-242161-00634	無名第1橋	(ムメダイ1ハシ)	市道堀越線	1960	7.5	1	2.4	34.853333度	136.250277度	梯子
16	BR0-242161-00636	無名第1橋	(ムメダイ1ハシ)	市道横道線	1948	6.7	1	4	34.821666度	136.244444度	梯子
17	BR0-242161-00637	無名第2橋	(ムメダイ2ハシ)	市道横道線	1949	7	1	3.1	34.804722度	136.243055度	梯子
18	BR0-242161-00649	澤橋	(サワハシ)	市道沢1号線	1960	8.8	1	5.6	34.860833度	136.229444度	梯子
19	BR0-242161-00663	上川原橋2	(カミワラハシ2)	市道上川原線	1961	11.8	1	4	34.828611度	136.223055度	梯子
20	BR0-242161-00664	無名第2橋	(ムメダイ2ハシ)	市道物堂樋岡線	1950	2.4	1	4.2	34.821666度	136.216388度	梯子
21	BR0-242161-00670	無名第1橋	(ムメダイ1ハシ)	市道中出1号線	1961	2.5	1	3	34.823333度	136.207777度	梯子
22	BR0-242161-00671	無名第1橋	(ムメダイ1ハシ)	市道西出1号線	1961	2.7	1	4.3	34.820555度	136.203055度	梯子
23	BR0-242161-00680	坂東橋	(ハントウハシ)	市道山畑本線	1955	3.6	1	3.2	34.793888度	136.240000度	梯子
24	BR0-242161-00681	無名第1橋	(ムメダイ1ハシ)	市道瀬古線	1950	2.2	1	3.9	34.789722度	136.230000度	梯子
25	BR0-242161-00682	無名第1橋	(ムメダイ1ハシ)	市道奥出宮西線	1953	2.7	1	2.7	34.788611度	136.227500度	梯子
26	BR0-242161-00694	無名第1橋	(ムメダイ1ハシ)	市道金谷西之沢線	1957	2	1	2.4	34.805000度	136.192777度	梯子
27	BR0-242161-00695	西野橋	(ニシノハシ)	市道金谷西之沢線	1949	2.9	1	4.2	34.804166度	136.192222度	梯子
28	BR0-242161-00697	無名第1橋	(ムメダイ1ハシ)	市道塚脇線	1945	2.2	1	2.2	34.808611度	136.193055度	梯子
29	BR0-242161-00698	無名第2橋	(ムメダイ2ハシ)	市道塚脇線	1945	3	1	1.8	34.808333度	136.191666度	梯子
30	BR0-242161-00705	石橋	(イシハシ)	市道三反田中出線	1932	2.6	1	10	34.821944度	136.205833度	梯子
31	BR0-242161-00719	松ヶ本橋	(マツガモトハシ)	市道合坊横谷線	1960	2.6	1	5	34.868333度	136.190833度	梯子
32	BR0-242161-00720	野中橋	(ノナカハシ)	市道二本木山生田線	1949	10.2	1	3.7	34.875277度	136.168888度	梯子
33	BR0-242161-00728	北峯橋	(ミタミネハシ)	市道石川北峯線	1954	4.1	1	3.8	34.840833度	136.160833度	梯子
34	BR0-242161-00742	越前橋	(エチゼンハシ)	市道石川黒滝線	1954	10	1	6.1	34.841388度	136.163333度	梯子
35	BR0-242161-00760	一色橋	(イツシキハシ)	市道別借線	1962	8.4	1	4.7	34.845277度	136.203055度	梯子
36	BR0-242161-00787	翁橋	(オキナハシ)	市道政所1号線	1954	10	1	3.5	34.874166度	136.140000度	梯子
37	BR0-242161-00794	無名第1橋	(ムメダイ1ハシ)	市道殿白1号線	1955	2.7	1	5.9	34.844444度	136.116388度	梯子
38	BR0-242161-00799	無名橋2	(ムメダイ2)	市道の場新田線	1957	5	1	2.9	34.846666度	136.136111度	梯子
39	BR0-242161-00808	北出橋	(キタデハシ)	市道石川新田丸柱線	1960	2.5	1	4.5	34.843333度	136.128611度	梯子
40	BR0-242161-00809	無名第1橋	(ムメダイ1ハシ)	市道横山石川線	1960	4	1	4.7	34.850555度	136.153611度	梯子
41	BR0-242161-00810	大谷橋	(オオタニハシ)	市道横山石川線	1961	3.9	1	3.8	34.849722度	136.137222度	梯子
42	BR0-242161-00813	ドンド橋	(トントハシ)	市道川合円徳院線	1948	2.7	1	5.2	34.817777度	136.174722度	梯子
合計(梯子)42橋						189.8		178.6			
平均(梯子)						4.52		4.25			

2019年度 社会資本整備装具交付金事業 橋梁長寿命化修繕計画策定事業 橋梁点検業務委託
(橋長15m以上)

番号	作業用番号	施設名	施設名 フリガナ	路線名	架設年度	橋長(m)	径間数	幅員(m)	起点側位置 緯度	起点側位置 経度	備考
1	BR0-242161-00639	無名第1橋	(ムメイダイハシ)	市道中之屋敷線	1953	19	1	4.8	34.840000度	136.231111度	梯子
2	BR0-242161-01231	上村橋	(ウエムラハシ)	市道下柘植上柘植線	1935	18	2	3.2	34.829794度	136.222755度	梯子
3	BR0-242161-01234	芝出橋	(シバデハシ)	市道石川波敷野線	1976	16.5	1	4.5	34.837102度	136.159519度	梯子
4	BR0-242161-01235	綾下橋	(アヤシタハシ)	市道馬場柏野線	1975	26.4	1	3.7	34.827575度	136.180622度	梯子
5	BR0-242161-01237	松本橋	(マツモトハシ)	市道石川波敷野線	1978	15.5	1	4.1	34.834108度	136.160400度	梯子
6	BR0-242161-01262	前川中央橋	(マエガワチュウオウハシ)	市道前川中央線	1981	35.7	2	2	34.837480度	136.240725度	梯子
7	BR0-242161-01263	天神橋	(テンジンハシ)	市道倉部柘植線	1961	22	1	6	34.843847度	136.241766度	梯子
8	BR0-242161-01287	物堂橋	(モツハシ)	市道下柘植新堂停車場線	1968	24	1	5.5	34.822191度	136.217830度	梯子
9	BR0-242161-01290	高田橋	(タカダハシ)	市道川西川東線	1975	43.4	2	4	34.799738度	136.204216度	梯子
10	BR0-242161-01294	向出橋	(ムカイデハシ)	市道向出東山線	1966	42.5	3	2.8	34.811130度	136.174025度	梯子
11	BR0-242161-01295	押立橋	(オシタテハシ)	市道川合田中線	1973	44.4	2	2.5	34.815727度	136.174850度	梯子
12	BR0-242161-01296	向橋	(ムカイハシ)	市道千貝土穴線	1974	30.1	2	2.1	34.830391度	136.165269度	梯子
13	BR0-242161-01297	下出橋	(シモデハシ)	市道向出下出線	1966	40	3	2.5	34.844719度	136.133255度	梯子
14	BR0-242161-01316	拝野橋	(ハイノハシ)	市道拝野下馬場谷線	1971	20	1	4	34.835688度	136.237913度	梯子
15	BR0-242161-01348	笠ヶ鼻橋	(カサガハナハシ)	市道加茂東竹谷線	1963	15	2	2.6	34.840536度	136.261947度	梯子
16	BR0-242161-01351	上村橋	(ウエムラハシ)	市道野村上村線	1954	27	3	4	34.833755度	136.232711度	梯子
17	BR0-242161-01352	上市場橋	(カミイチバハシ)	市道上川原線	1970	28	2	4	34.827486度	136.221638度	梯子
18	BR0-242161-01355	法仏橋	(ホウブツハシ)	市道井戸川法佛線	1974	40	2	3	34.794247度	136.207402度	梯子
19	BR0-242161-01356	上川原橋1	(カミカワラハシ1)	市道上川原線	1963	71.9	10	1.9	34.806750度	136.187044度	梯子
20	BR0-242161-01358	沢橋	(サワハシ)	市道田藤千貝線	1973	33.5	2	2	34.826122度	136.170955度	梯子
21	BR0-242161-01359	片岨橋	(カタソウハシ)	市道石川片岨線	1969	19.9	2	3	34.837719度	136.160258度	梯子
22	BR0-242161-01360	宮ノ前橋	(ミヤノマエハシ)	市道石川風呂ノ上線	1970	16.2	1	2.2	34.841530度	136.154433度	梯子
23	BR0-242161-01361	高樋橋	(タカヒハシ)	市道清見向出線	1965	20.1	2	2.5	34.829677度	136.181197度	梯子
24	BR0-242161-01362	向出橋	(ムカイデハシ)	市道向山稲端線	1973	23.3	1	1.5	34.832750度	136.181566度	梯子
25	BR0-242161-01363	前出橋	(マエデハシ)	市道村山馬田線	1972	23.3	1	2.1	34.832427度	136.184141度	梯子
26	BR0-242161-01364	貝市良橋	(カイイチロウハシ)	市道倉谷矢場城線	1972	24.7	1	3.1	34.836944度	136.188927度	梯子
27	BR0-242161-01365	寺阪橋	(テラスカハシ)	市道広尾矢場城線	1972	23.3	1	3	34.837241度	136.187322度	梯子
28	BR0-242161-01366	第一白礎橋	(ダイイチシロハシ)	市道辻前コロボク線	1972	23.1	1	3	34.845133度	136.194913度	梯子
29	BR0-242161-01367	ゴロボク橋	(ゴロボクハシ)	市道一色別僧線	1977	18.4	1	2.3	34.846744度	136.199172度	梯子
30	BR0-242161-01401	金平橋	(キンペハシ)	市道谷出線	1974	25.8	1	3.5	34.790683度	136.232969度	梯子
31	BR0-242161-01447	鞆田川橋	(トモダカワハシ)	市道コロボク谷出線	1933	16	1	7.3	34.846922度	136.196275度	梯子
32	BR0-242161-01454	藤川戸橋	(フジカワトハシ)	市道川崎前八幡前線	1974	15	1	4.1	34.870372度	136.175136度	梯子
33		新堂橋跨線橋	(シンドウハシコセンキョウ)	市道新堂駅前連絡橋線	上り側:1976 下り側:2002	23.2	2	2.25	34.821128度	136.206780度	梯子
合計(梯子)33橋						885.2		109.05			
平均(梯子)						26.82		3.30			

特記仕様書

1. 目的

本業務は、伊賀市が管理する橋梁の現状を把握し、橋梁の維持管理に必要となる基礎資料を得ることを目的とする。

2. 適用図書

本業務の橋梁点検に関する作業については、「伊賀市橋梁点検要領（案）平成 29 年 6 月」によること。

3. 点検従事者について

点検業務に従事する者のうち 1 名は、「三重県橋梁点検技術者講習会」を受講し、受講証明書の交付を受けた者とする。

4. 点検業務について

(1) 計画準備

① 業務計画書

- ・伊賀市より貸与された資料等をもとに、業務計画書を作成する。
- ・業務計画書には、「三重県橋梁点検技術者講習会」の受講証明書を添付すること。

② 図面作成

- ・伊賀市により提供された橋梁台帳により、チェックシートの概略図を作成する。ただし、橋梁一般図等がない場合は、請負者において現地調査を行い、点検要領に基づく点検に必要な概略図を作成すること。

(2) 現地踏査

- ・橋梁点検に先立って現地調査を行い、点検計画を策定するために必要な進入路、交通状況等を把握すること。

(3) 関係機関協議

- ・他機関との協議が必要な橋梁については、監督員へ報告すること。

(4) 点検

- ・「伊賀市橋梁点検要領（案）平成 29 年 6 月」に基づき点検を行う。また、必要に応じて橋梁台帳の記載事項（塗装面積、高欄の種類、落橋防止施設の種類等）を補完するために現地で調査を行う。なお、支承については、損傷がなくても各支点（橋台・橋脚）で 1 ヶ所写真を撮影すること。
- ・支承等に土砂が被さっている場合は、それを撤去したうえで点検を行うこと。

- (5) 点検調書作成
 - ・点検結果をもとに、伊賀市橋梁点検要領（案）のチェックシートを清書し、写真等の整理を行う。
 - ・点検結果を発注者が提供するエクセルシートに入力すること。
- (6) 打合せ
 - ・作業計画書をもとに、調査方法、内容等を打ち合わせるとともに、発注者より橋梁点検に必要な資料等の貸与を受けること。
- (7) 安全管理
 - ・本業務を実施するにあたり、本特記仕様書に定める図書のほか、関連法令等を遵守し、作業の安全確保に努めること。
- (8) 土地の立ち入り等について
 - ・本業務を実施するために第三者の土地に立ち入る場合、または、第三者所有の草木等の伐採が必要な場合は、受注者において了解を得ること。
- (9) 健全度評価
 - ・本業務で点検を行った橋梁について、「伊賀市橋梁点検要領（案）損傷事例」を参考に、損傷度の見直しを行い、橋梁の健全度評価（4段階）を行うこと。
- (10) その他
 - ・本特記仕様書に定めないものは、「三重県業務委託共通仕様書」によるものとする。
- (11) 工程管理（履行報告）
 - ・業務計画書に基づき全体工程を作成し、毎月末の履行状況を所定の様式に基づき作成し、翌月の3日までに監督員に提出すること。なお、工程に遅れが生じている場合は、全体工程を修正し、履行状況の提出に併せて修繕全体工程表を提出すること。
- (12) 橋梁点検データの整理について
 - ・伊賀市橋梁点検要領（案）平成29年6月P85からP96に基づくこと。
 - ・データの整理が完了後、橋梁点検データを三重県建設技術センターでフォルダ構成等の作業を行いますので、不適合が見受けられた場合は、修正等の作業を行うこと。なお、時期については監督員と協議を行うこと。

特記仕様書（設計業務条件一覧表）

No.2

明示項目	明示事項（条件及び内容）
カ 照査技術者	<input type="checkbox"/> 概略・予備・詳細設計等については、照査技術者を定めなければならない。 <input checked="" type="checkbox"/> 次の業務には、照査技術者を定めなければならない。 （ 業務全般 ）
照査技術者の要件	照査技術者は、（ <input type="checkbox"/> 下記の者 <input checked="" type="checkbox"/> 下記のいずれかの者 ）とする。 <input checked="" type="checkbox"/> 技術士 （ <input type="checkbox"/> 部門 科目、 <input type="checkbox"/> 部門、 <input checked="" type="checkbox"/> 部門・科目を問わない ） <input checked="" type="checkbox"/> 上記の技術士と同等の能力と経験を有する技術者（技術管理者） <input checked="" type="checkbox"/> R C C Mの資格保持者 （ <input type="checkbox"/> 部門、 <input checked="" type="checkbox"/> 部門を問わない ） <input type="checkbox"/> 受注者の責任において定めた、業務の履行に必要な知識と経験を有する者 <input checked="" type="checkbox"/> その他（管理技術者及び照査技術者の兼務は出来ないものとする。）
照査の実施	<input checked="" type="checkbox"/> 照査は下記も含めて実施し、これに基づいて作成した資料は照査報告書に含めて提出しなければならない。 <input checked="" type="checkbox"/> 詳細設計照査要領（（社）中部建設協会発行） <input type="checkbox"/> その他（ ）
キ 打合せ等	<input checked="" type="checkbox"/> 設計業務等着手時及び成果物納入時（成果物案の打合せ時を含む）及び設計図書で定める業務の区切りにおける打合せには、管理技術者が出席するものとする。 <input checked="" type="checkbox"/> 照査技術者による照査が定められている場合は以下のとおりとする。 設計業務着手時及び成果物納入時（成果物案の打合せ時を含む）における打合せには、照査技術者も出席するものとする。
ク 資料の貸与	<input checked="" type="checkbox"/> 発注者の貸与する資料は、次のとおりとする。 （ 道路台帳 ）
ケ 業務条件	<input type="checkbox"/> 業務条件は下記のとおりとする。

（注）

1. 上記受託業務事項・条件及び内容のレ印該当欄は、作業に当たって制約を受ける事となるので明示する。
2. 明示事項に変更が生じた場合及び明示されていない制約等が発生したときは、発注者と別途協議し、適切な措置を講ずるものとする。
3. 別途協議とは、設計・現場説明又は作業打合せ等により協議するものとする。

伊賀市
2019年5月

特記仕様書（設計業務条件一覧表）

No.3

明示項目	明示事項（条件及び内容）
コ その他	<p><input checked="" type="checkbox"/> 成果物の中で他の文献、資料等を引用した場合出典名を報告書に明記すること。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 暴力団員等による不当介入（伊賀市の締結する契約等からの暴力団等排除措置要綱第2条第1項第11号）を受けた場合の措置について</p> <p>(1) 受注者は暴力団員等（伊賀市の締結する契約等からの暴力団等排除措置要綱第2条第1項第9号）による不当介入を受けた場合は、断固としてこれを拒否するとともに、不当介入があった時点で速やかに所轄の警察署に通報を行うとともに、捜査上必要な協力を行うこと。</p> <p>(2) (1)により所轄の警察署に通報を行うとともに、捜査上必要な協力を行った場合には、速やかに発注者に報告すること。発注者への報告は必ず文書で行うこと。</p> <p>(3) 受注者は暴力団員等により不当介入を受けたことから工程に遅れが生じる等の被害が生じた場合は、発注者と協議を行うこと。</p>

(注)

1. 上記受託業務事項・条件及び内容のレ印該当欄は、作業に当たって制約を受ける事となるので明示する。
2. 明示事項に変更が生じた場合及び明示されていない制約等が発生したときは、発注者と別途協議し、適切な措置を講ずるものとする。
3. 別途協議とは、設計・現場説明又は作業打合せ等により協議するものとする。

伊賀市
2019年5月

保管用データ作成にかかる追加特記仕様書① (橋梁点検用)

本追加特記仕様書は、成果品として定められている電子納品用成果とは別に、データ保管のために作成する電子データの作成について定めるものである。

1 通 則

保管用データ作成については、本追加特記仕様書に基づき実施するものとし、本追加特記仕様書等に明示なき事項、又は疑義が生じた場合には、受発注者間で協議の上これを定めるものとする。

2 提出部数及び収録媒体

- (1) 作成部数 1 部
- (2) 収録媒体はDVD-RまたはCD-Rを用いるものとするが、発注者との協議により了承を得た場合はこの限りではない。
- (3) 提出する収録媒体は、最新のバージョンによるウイルスチェックを実施し、脅威が検出されていない旨を発注者に報告しなければならない。

3 橋梁基本情報の作成

- (1) 橋梁基本情報とは、対象となる橋梁の諸元（位置や橋梁名など）を示すものであり、発注者より作成の指示のあった場合は、別途発注者より提供する様式「橋梁基本情報登録」において、必要な情報を入力し、提出しなければならない。
- (2) 発注者より配布される様式類については、レイアウト（行や列の挿入・削除）等改変することはできない。やむを得ず改変する場合は、発注者に改変内容を書面にて提示しなければならない。

4 橋梁点検にかかる保管用データの作成（参考資料参照）

- (1) 橋梁点検に関する保管用データは、別途「橋梁点検にかかる保管用データ格納フォルダー構成」に示す構成により取りまとめ、格納しなければならない。
- (2) 報告書フォルダーには、別途示す「業務対象橋梁一覧」を作成し、格納しなければならない。
- (3) 報告書フォルダーには、設計報告書をPDFにて一式格納しなければならない。
- (4) 報告書フォルダーには、発注者より指示のない限り、オリジナルデータは格納してはならない。
- (5) 各橋梁毎のデータについては、各橋梁毎にフォルダーを作成し、各種様式類や損傷写真、損傷図等を仕分けして格納しなければならない。このときファイルの形式（ExcelやWord、PDFなど）については、特に指定はなく、関連するデータを格納する。
- (6) 成果品については、発注者より提供されるチェックシステムを用いてチェックを行ない、エラーの無いように修正しなければならない。
- (7) チェックシステムにおける警告事案に関しては、警告内容を発注者に紙面にて報告し、協議のうえ指示を得るものとする。
- (8) その他記載のないものについては、発注者と協議のうえ指示を得なければならない。
- (9) 本追加特記仕様書に示す仕様と異なるもので提出された場合、発注者より補修の要請があった場合は、その仕様に合致するよう受注者の責により補修しなければならない。

【参考資料】

1. 橋梁基本情報登録について
2. 橋梁点検にかかる保管用データ格納フォルダー構成について
3. 業務対象橋梁一覧について

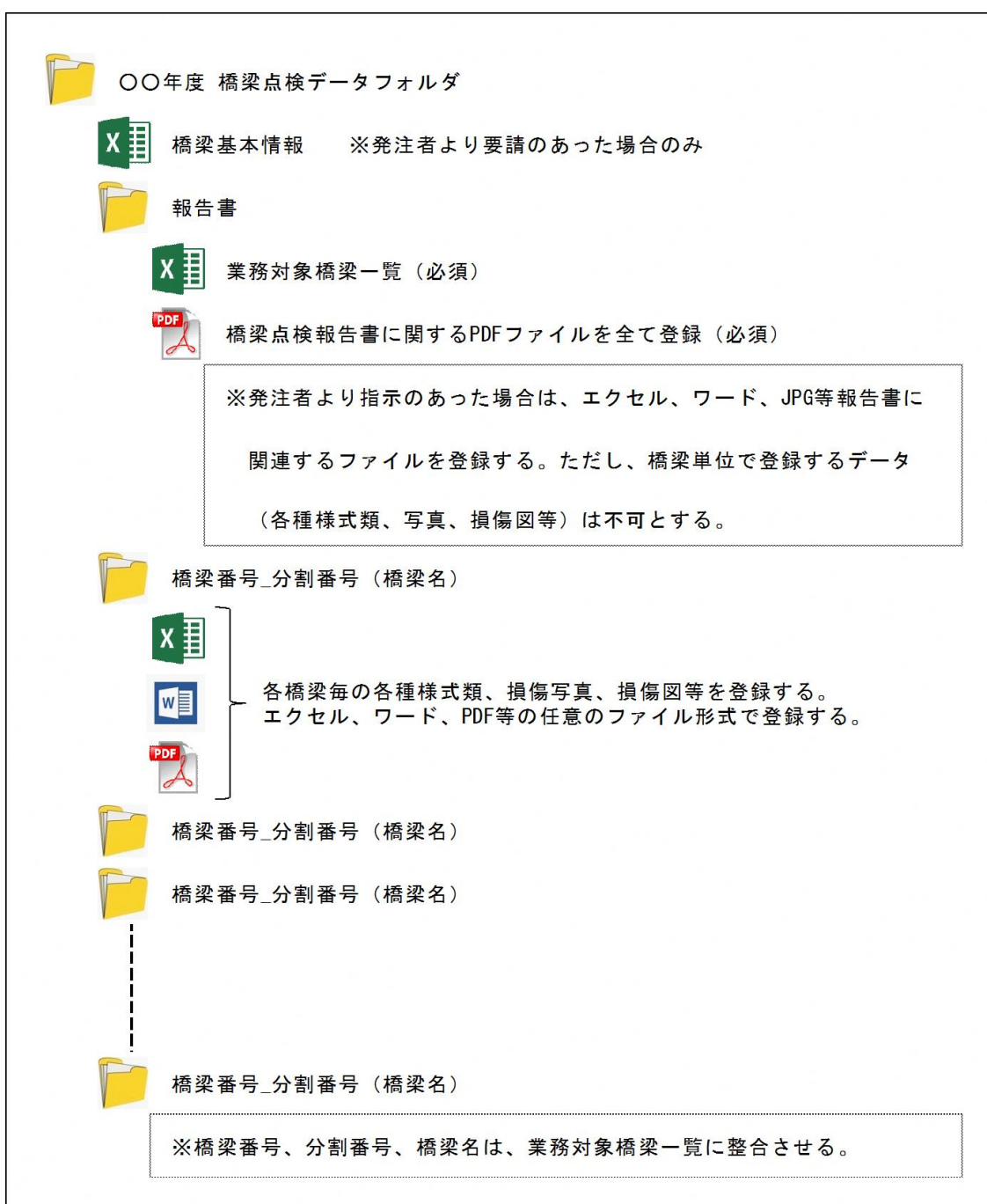
【参考資料】

1. 「橋梁基本情報登録」について

別途指定する様式に基づき、橋梁基本情報を作成する。

橋梁基本情報の作成において、「橋梁番号、分割番号、管理者、道路種別、路線番号、路線名、市町村名、現旧新別、橋梁種別、橋梁分類、橋梁名、上部工構造形式、上部工使用材料、架設年次、橋長、径間数、橋梁名かな、起点側緯度、起点側経度」が入力必須項目となる。

2. 「橋梁点検にかかる保管用データ格納フォルダー構成」について



3. 報告書フォルダーに組み込む「業務対象橋梁一覧」について

	A	B	C	D	E	F	G
1	橋梁番号	分割番号	路線名	橋梁名			
2	10010	0	町道〇〇線	〇〇橋			
3	10020	0	町道〇〇線	〇〇橋			
4	10030	0	町道〇〇線	〇〇橋			
5	10040	0	町道〇〇線	〇〇橋			
6	10050	0	町道〇〇線	〇〇橋			
7	10060	1	町道〇〇線	〇〇橋			
8	10060	2	町道〇〇線	〇〇橋			
9	10070	0	町道〇〇線	〇〇橋			
10	10080	0	町道〇〇線	〇〇橋			
11	10090	0	町道〇〇線	〇〇橋			
12							
13							
14							

※エクセルシートを用い、一行目A列に橋梁番号、B列に分割番号、C列に路線名、D列に橋梁名のタイトルを入力し、二行目からそれぞれ該当情報を入力したものを格納する。

保管用データ作成にかかる追加特記仕様書② (橋梁点検用)

本追加特記仕様書は、成果品として定められている電子納品用成果とは別に、データ保管のために作成する電子データの作成について定めるものである。

1 通 則

保管用データ作成については、本追加特記仕様書に基づき実施するものとし、本追加特記仕様書等に明示なき事項、又は疑義が生じた場合には、受発注者間で協議の上これを定めるものとする。

2 提出部数及び収録媒体

- (1) 作成部数 1 部
- (2) 収録媒体はDVD-RまたはCD-Rを用いるものとするが、発注者との協議により了承を得た場合はこの限りではない。
- (3) 提出する収録媒体は、最新のバージョンによるウイルスチェックを実施し、脅威が検出されていない旨を発注者に報告しなければならない。

3 橋梁基本情報の作成

- (1) 橋梁基本情報とは、対象となる橋梁の諸元（位置や橋梁名など）を示すものであり、発注者より作成の指示のあった場合は、別途発注者より提供する様式「橋梁基本情報登録」において、必要な情報を入力し、提出しなければならない。
- (2) 発注者より配布される様式類については、レイアウト（行や列の挿入・削除）等改変することはできない。やむを得ず改変する場合は、発注者に改変内容を書面にて提示しなければならない。

4 橋梁点検にかかる保管用データの作成（参考資料参照）

- (1) 橋梁点検については別途特記仕様書に示されている「〇〇〇町橋梁点検要領（案）平成29年6月」に基づき実施し、保管用データを取りまとめ格納しなければならない。
- (2) 報告書フォルダーには、別途示す「業務対象橋梁一覧」を作成し、格納しなければならない。
- (3) 報告書フォルダーには、設計報告書をPDFにて一式格納しなければならない。
- (4) 報告書フォルダーには、発注者より指示のない限り、オリジナルデータは格納してはならない。
- (5) その他「〇〇〇町橋梁点検要領（案）平成29年6月」に記載のないものについては、発注者と協議のうえ指示を得なければならない。
- (6) 成果品については、発注者より提供されるチェックシステムを用いてチェックを行ない、エラーの無いように修正しなければならない。
- (7) チェックシステムにおける警告事案に関しては、警告内容を発注者に紙面にて報告し、協議のうえ指示を得るものとする。
- (8) 本追加特記仕様書に示す仕様と異なるもので提出された場合、発注者より補修の要請があった場合は、その仕様に合致するよう受注者の責により補修しなければならない。

【参考資料】

1. 橋梁基本情報登録について
2. 橋梁点検にかかる保管用データ格納フォルダー構成について
3. 業務対象橋梁一覧について

【参考資料】**1. 「橋梁基本情報登録」について**

別途指定する様式に基づき、橋梁基本情報を作成する。

橋梁基本情報の作成において、「橋梁番号、分割番号、管理者、道路種別、路線番号、路線名、市町村名、現旧新別、橋梁種別、橋梁分類、橋梁名、上部工構造形式、上部工使用材料、架設年次、橋長、径間数、橋梁名かな、起点側緯度、起点側経度」が入力必須項目となる。

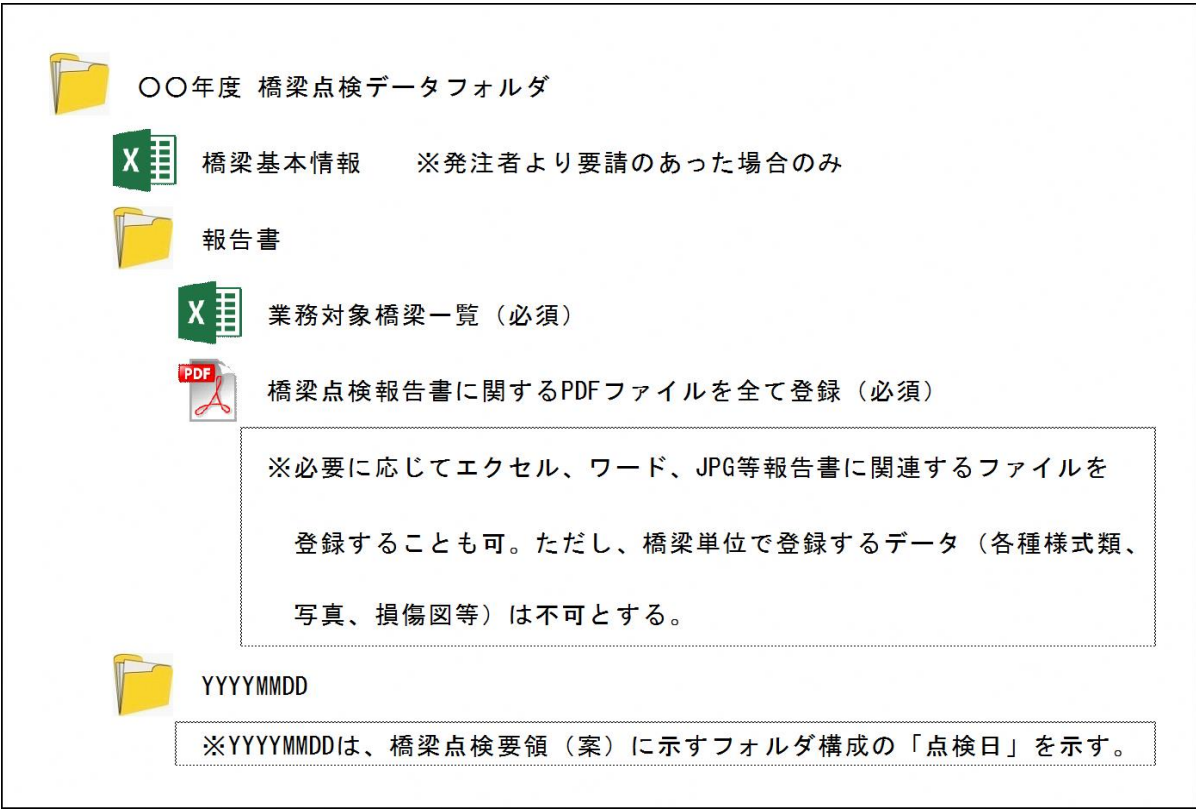
2. 「橋梁点検にかかる保管用データ格納フォルダー構成」について

Diagram illustrating the folder structure for bridge inspection data storage:

- 〇〇年度 橋梁点検データフォルダ
 - 橋梁基本情報 ※発注者より要請のあった場合のみ
 - 報告書
 - 業務対象橋梁一覧（必須）
 - 橋梁点検報告書に関するPDFファイルを全て登録（必須）

※必要に応じてエクセル、ワード、JPG等報告書に関連するファイルを登録することも可。ただし、橋梁単位で登録するデータ（各種様式類、写真、損傷図等）は不可とする。

YYYYMMDD

※YYYYMMDDは、橋梁点検要領（案）に示すフォルダ構成の「点検日」を示す。

※各橋梁毎に格納するデータ等のフォルダー構成やファイル形式、細則等については「〇〇〇町橋梁点検要領（案）平成29年6月」による。

3. 報告書フォルダーに組み込む「業務対象橋梁一覧」について

	A	B	C	D	E	F	G
1	橋梁番号	分割番号	路線名	橋梁名			
2	10010	0	町道〇〇線	〇〇橋			
3	10020	0	町道〇〇線	〇〇橋			
4	10030	0	町道〇〇線	〇〇橋			
5	10040	0	町道〇〇線	〇〇橋			
6	10050	0	町道〇〇線	〇〇橋			
7	10060	1	町道〇〇線	〇〇橋			
8	10060	2	町道〇〇線	〇〇橋			
9	10070	0	町道〇〇線	〇〇橋			
10	10080	0	町道〇〇線	〇〇橋			
11	10090	0	町道〇〇線	〇〇橋			
12							
13							
14							

※エクセルシートを用い、一行目A列に橋梁番号、B列に分割番号、C列に路線名、D列に橋梁名のタイトルを入力し、二行目からそれぞれ該当情報を入力したものを格納する。

点検項目		県市町名	路線名	橋種	点検日					
		橋梁コード	位置(起点側)	橋長(m)	点検者					
		橋梁名	位置(終点側)	総径間数	点検径間番号					
						上部工塗装面積				
点検項目	損傷状況	損傷程度の評価(該当する項目に○を付けて下さい)点検項目中の()内は健全性評価目安である					写真番号 (複数記入可)	損傷数量 損傷度B	損傷数量 損傷度A	備考
		該当部材 無し	O.K (健全性: I)	B1 (健全性: I ~ II)	B2 (健全性: I ~ II)	A (健全性: I ~ II)				
1	路面	路面の凹凸	部材無し	凹凸20mm未満の損傷がある。損傷箇所が少ない。	凹凸20mm以上の損傷がある。損傷箇所が比較的多い。	凹凸30mm以上の損傷がある。損傷箇所や面積が多く広い。	車両等の通行に支障がある(凹凸40mm以上)損傷がある。			供用性を評価
2		舗装の異常	部材無し	舗装ひび割れ幅5mm以下である。密集度が低い。	舗装ひび割れ幅5mm以上で深さが床版に達している。発生箇所数や面積は少ない。	舗装ひび割れ幅10mm以上で舗装直下のコンクリートが土砂化している。発生箇所や面積が多い。	車両等の通行に於いて減速や迂回を必要とするような損傷がある。			
3	橋面 伸縮装置	遊間の異常	部材無し	各遊間に差はあるが必要程度の遊間は確保されている。	各遊間の間隔が極端に異なっている。直角方向にずれている。	装置の櫛の歯が完全に離れている。桁とパラペットあるいは桁同士が接触している。	遊間の異常な広がりや装置の座屈変形によるせり上がり等により、第三者に障害を及ぼす懸念がある。			供用性を評価
4		路面の凹凸	部材無し	凹凸20mm未満の損傷がある。損傷箇所が少ない。	凹凸20mm以上の損傷がある。損傷箇所が比較的多い。	凹凸30mm以上の損傷がある。損傷箇所や面積が多く広い。	車両等の通行に支障がある(凹凸40mm以上)損傷がある。			伸縮装置固定部の後打ちコンクリートを評価
5		鋼製ジョイントの場合 腐食、亀裂、ゆるみ・脱落、破断など	部材無し	鋼材の表面に部分的な腐食がある。	鋼材表面全体に錆が発生している。櫛の歯の一部に軽微な破断や欠損がある。	錆の発生が激しく板厚の減少がある。櫛の歯に比較的大きな亀裂や破断がある。	櫛の歯の破断や欠損により、通行車両等に障害(パンク、転倒)を及ぼす懸念がある。			
6		変形・欠損、漏水など (ゴム系)	部材無し	経年劣化がある。	部分的に軽度の変形・欠損、漏水などがある。	部材全体に劣化が進み比較的大きな変形や欠損がある。欠損箇所から橋面下への漏水が見られる。	部材に著しい変形や欠損が生じている。第三者の通行に支障がある。			
7	高欄・防護柵・地覆・中央分離帯	腐食、変形・欠損など	部材無し	(鋼部材の場合)錆は表面錆で板厚の減少や断面欠損はなく、錆びの面積は50%未満。部材等の変形、欠損はない。(コンクリート部材の場合)部材等の変形、欠損、鉄筋の露出はない。	(鋼部材の場合)錆は表面錆で板厚の減少や断面欠損はないが、錆びの面積は50%以上。部材等の変形、欠損はあるが軽微である。(コンクリート部材の場合)部材等の変形、欠損、鉄筋の露出はあるが軽微である。	(鋼部材の場合)錆による板厚の減少や断面欠損があるが、錆びの面積は50%未満。部材の一部が局部的に著しく変形し一部が欠損している。支柱下地覆が欠損し支柱が浮いている。(コンクリート部材の場合)部材の一部が局部的に著しく変形し一部が欠損している。	(鋼部材の場合)車両の衝突による変形や腐食による断面欠損があり、錆びの面積が50%以上である。損傷により逸脱防止構造(支柱や梁)の機能が失われ車両や歩行人に支障がある。(コンクリート部材の場合)損傷により逸脱防止構造(支柱や梁)の機能が失われ車両や歩行人に支障がある。			供用性を評価
8	排水施設 柵、管	腐食、変形・欠損など	部材無し	軽微な腐食はあるが、変形、欠損はない。	部材が局部的に変形している。排水管全体が腐食している。	部材全体が著しく腐食して部分的に欠損している。柵の一部に変形や欠損がある。	排水管の腐食が著しく部材が欠損し、機能不全を生じている。排水柵が消失し空隙が生じ第三者の通行に支障がある。			供用性を評価
9	その他付属物	腐食、変形・欠損など	部材無し	軽微な腐食はあるが、変形、欠損はない。	部材が局部的に変形し、一部が著しく欠損している。	部材が全体的に著しく変形したり、欠損している。	橋上施設部材の変形や異常により第三者の通行に支障がある。			供用性を評価

点検項目		県市町名	路線名	橋種	点検日					
		橋梁コード	位置(起点側)	橋長(m)	点検者					
		橋梁名	位置(終点側)	総径間数	点検径間番号					
					上部工塗装面積					
点検項目	損傷状況	損傷程度の評価(該当する項目に○を付けて下さい)点検項目中の()内は健全性評価目安である					写真番号 (複数記入可)	損傷数量 損傷度B	損傷数量 損傷度A	備考
		該当部材 無し	O.K (健全性: I)	B1 (健全性: I ~ II)	B2 (健全性: I ~ III)	A (健全性: II ~ IV)				
10	主桁	腐食・防食機能の劣化	部材無し	皮膜に変色はない。 錆は表面錆で板厚の減少や断面欠損はなく、錆びの面積は50%未満である。	皮膜が一部劣化している。 錆は表面錆で板厚の減少や断面欠損はない。(錆び面積50%以上) 板厚減少を伴わない局所的な膨張がある。	皮膜が劣化し点錆が発生している。 錆の発生により部材(支点、支間中央付近以外)に著しい膨張が生じ板厚の減少が見られる。	皮膜の劣化範囲が広くし点錆が発生している。 耐荷力に影響(断面定数の低下)と思われる板厚の減少が(支点、支間中央付近など)ある。			耐荷性に直接影響する
11		亀裂・破断	部材無し	損傷なし	溶接接合部や鋼材の塗装表面に局所的な塗膜割れや亀裂やなどが見られる。亀裂が線状でなく短く、数が少ない。	溶接接合部や鋼材の塗装表面に線状の亀裂がある。亀裂の長さや発生本数が比較的長く多い。亀裂が鋼材内部に生じている可能性がある。	耐荷力に影響(断面定数の低下)と思われる大きな亀裂や破断が(支点付近)にある。			
12		ゆるみ・脱落	部材無し	損傷なし	一群の添接部所に於いて5%未満のボルトに異常がある。 (使用材料は問わない)	一群の添接部所に於いて5%以上のボルトに異常がある。 (使用材料は問わない)	一群の添接部所に於いて5%以上のボルトに異常があり且つ一列一行に一本以上の異常がある。 B2の損傷状況且つ遅れ破壊を伴う材料(F11T)を使用。			
13		変形・欠損	部材無し	当て傷等軽微な損傷がある。	局所的な変形や欠損がある。	著しい変形(座屈等)や欠損がある。	耐荷力に影響(断面定数の低下)と思われる変形や欠損が(支点や支間中央付近など)ある。			
14	鋼 横桁・縦桁	腐食・防食機能の劣化	部材無し	皮膜に変色はない。 錆は表面錆で板厚の減少や断面欠損はなく、錆びの面積は50%未満である。	皮膜が一部劣化している。 錆は表面錆で板厚の減少や断面欠損はない。(錆び面積50%以上)である。 板厚減少を伴わない局所的な膨張がある。	皮膜が劣化し点錆が発生している。 錆の発生により部材(支点、支間中央付近以外)に著しい膨張が生じ板厚の減少が見られる。	耐荷力に影響(断面定数の低下)と思われる板厚の減少が(接合部、支間中央付近など)ある。			耐荷性に影響する部材
15		亀裂・破断	部材無し	損傷なし	溶接接合部や鋼材の塗装表面に局所的な塗膜割れや亀裂やなどが見られる。亀裂が線状でなく短く、数が少ない。	溶接接合部や鋼材の塗装表面に線状の亀裂があり、亀裂の長さや発生本数が比較的長く多い。亀裂が鋼材内部に生じている可能性がある。	耐荷力に影響(断面定数の低下)と思われる大きな亀裂や破断が(接合部、支間中央付近など)ある。			
16		ゆるみ・脱落	部材無し	損傷なし	一群の添接部所に於いて5%未満のボルトに異常がある。 (使用材料は問わない)	一群の添接部所に於いて5%以上のボルトに異常がある。 (使用材料は問わない)	一群の添接部所に於いて5%以上のボルトに異常があり且つ一列一行に一本以上の異常がある。 B2の損傷状況且つ遅れ破壊を伴う材料(F11T)を使用。			
17		変形・欠損	部材無し	当て傷等軽微な損傷がある。	局所的な変形や欠損がある。	著しい変形(座屈等)や欠損がある。	耐荷力に影響(断面定数の低下)と思われる変形や欠損がある。			
18	床版	腐食・防食機能の劣化	部材無し	皮膜に変色はない。 錆は表面錆で板厚の減少や断面欠損はなく、錆びの面積は50%未満である。	皮膜が一部劣化している。 錆は表面錆で板厚の減少や断面欠損はない。(錆び面積50%以上) 板厚減少を伴わない局所的な膨張がある。	皮膜が劣化し点錆が発生している。 錆の発生により部材(支点、支間中央付近以外)に著しい膨張が生じ板厚の減少が見られる。	耐荷力に影響(断面定数の低下)と思われる板厚の減少が(接合部、支間中央付近など)ある。			耐荷性に影響する部材
19		亀裂・破断	部材無し	損傷なし	溶接接合部や鋼材の塗装表面に局所的な塗膜割れや亀裂などが 見られる。 亀裂が線状でなく短く、数が少ない。	溶接接合部や鋼材の塗装表面に線状の亀裂がある。 亀裂の長さや発生本数が比較的長く多い。 亀裂が鋼材内部に生じている可能性がある。	耐荷力に影響(断面定数の低下)と思われる大きな亀裂や破断がある。			
20		ゆるみ・脱落	部材無し	損傷なし	一群の添接部所に於いて5%未満のボルトに異常がある。 (使用材料は問わない)	一群の添接部所に於いて5%以上のボルトに異常がある。 (使用材料は問わない)	一群の添接部所に於いて5%以上のボルトに異常があり且つ一列一行に一本以上の異常がある。 B2の損傷状況且つ遅れ破壊を伴う材料(F11T)を使用。			
21		変形・欠損	部材無し	当て傷等軽微な損傷がある。	局所的な変形や欠損がある。	著しい変形(座屈等)や欠損がある。	耐荷力に影響(断面定数の低下)と思われる変形や欠損がある。			

点検項目		県市町名	路線名	橋種	点検日					
		橋梁コード	位置(起点側)	橋長(m)	点検者					
		橋梁名	位置(終点側)	総径間数	点検径間番号					
						上部工塗装面積				
点検項目	損傷状況	損傷程度の評価(該当する項目に○を付けて下さい)点検項目中の()内は健全性評価目安である					写真番号 (複数記入可)	損傷数量 損傷度B	損傷数量 損傷度A	備考
		該当部材 無し	O.K (健全性: I)	B1 (健全性: I ~ II)	B2 (健全性: I ~ III)	A (健全性: II ~ IV)				
22	主桁	RC桁のひび割れ	部材無し	ひび割れ幅0.2mm未満 ひび割れ間隔1.0m以上	ひび割れ幅0.3mm未満 ひび割れ間隔0.5m程度	ひび割れ幅0.3mm以上 ひび割れ間隔0.5m未満	耐荷力に影響すると思われるひび割れがある。 せん断ひび(支点付近に斜め45°)が発生している。			耐荷性に直接影響する
23		PC桁のひび割れ	部材無し	ひび割れ幅0.1mm未満 ひび割れ間隔1.0m以上	ひび割れ幅0.2mm未満 ひび割れ間隔0.5m程度	ひび割れ幅0.2mm以上 ひび割れ間隔0.5m未満	耐荷力に影響すると思われるひび割れがある。			
24		剥離・鉄筋露出	部材無し	局所的な剥離が見られ鉄筋の露出があるが錆の発生は少ない。	主たる鉄筋の一部(主筋、スターラップ)が露出しているが腐食は軽微である。	主たる鉄筋(主筋、スターラップ)が露出し腐食が著しく、わずかに断面の減少が見られる。	主たる鉄筋のほとんどが露出し腐食が著しく、耐荷力に影響すると思われる断面減少が見られる。			
25		漏水・遊離石灰	部材無し	損傷なし	ひび割れから漏水が生じているが、錆汁や遊離石灰はほとんどみられない。	ひび割れから著しい漏水や遊離石灰、僅かな錆汁が発生している。 (単なる水滴や表面の伝い水による)	内部鉄筋の腐食を表すような多くの漏水や錆汁が発生している。			
26		変形・欠損	部材無し	当て傷等軽微な損傷がある。	局所的な変形や欠損がある。	著しい変形がある。 欠損が著しい。	耐荷力に影響(断面定数の低下)と思われる変形や欠損が(支点、支間中央付近など)ある。			
27	横桁・縦桁	RC桁のひび割れ	部材無し	ひび割れ幅0.2mm未満 ひび割れ間隔1.0m以上	ひび割れ幅0.3mm未満 ひび割れ間隔0.5m程度	ひび割れ幅0.3mm以上 ひび割れ間隔0.5m未満	耐荷力に影響すると思われるひび割れがある。 せん断ひび(支点付近に斜め45°)が発生している。			耐荷性に影響する部材
28		PC桁のひび割れ	部材無し	ひび割れ幅0.1mm未満 ひび割れ間隔1.0m以上	ひび割れ幅0.2mm未満 ひび割れ間隔0.5m程度	ひび割れ幅0.2mm以上 ひび割れ間隔0.5m未満	耐荷力に影響すると思われるひび割れがある。			
29		剥離・鉄筋露出	部材無し	局所的な剥離が見られ鉄筋の露出があるが錆の発生は少ない。	主たる鉄筋(主筋、スターラップ)が露出しているが腐食は軽微である。	主たる鉄筋(主筋、スターラップ)が露出し腐食が著しく断面の減少が見られる。	主たる鉄筋のほとんどが露出し腐食が著しく、耐荷力に影響すると思われる断面減少が見られる。			
30		漏水・遊離石灰	部材無し	損傷なし	ひび割れから漏水が生じているが、錆汁や遊離石灰はほとんどみられない。	ひび割れから著しい漏水や遊離石灰、僅かな錆汁が発生している。 (単なる水滴や表面の伝い水による)	内部鉄筋の腐食を表すような多くの漏水や錆汁が発生している。			
31		変形・欠損	部材無し	当て傷等軽微な損傷がある。	変形がある。 または欠損がある。	著しい変形がある。 または欠損が著しい。	耐荷力に影響すると思われる変形や欠損がある。			
32	床版 (張出部含む)	剥離・鉄筋露出	部材無し	局所的な剥離が見られ鉄筋の露出があるが錆の発生は少ない。	主たる鉄筋(主筋、スターラップ)が露出しているが腐食は軽微である。	主たる鉄筋(主筋、スターラップ)が露出し腐食が著しく僅かに断面の減少が見られる。	主たる鉄筋のほとんどが露出し腐食が著しく、耐荷力に影響すると思われる断面減少が見られる。			耐荷性に直接影響する
33		漏水・遊離石灰、 うき、変色・劣化	部材無し	損傷なし	コンクリートの劣化がある。ひび割れから漏水が生じているが、錆汁や遊離石灰はほとんどみられない。	コンクリートの劣化が激しい。ひび割れから著しい漏水や遊離石灰、錆汁が生じている。 (単なる水滴や表面の伝い水による遊離石灰は除く)	漏水等の風化作用によりコンクリートや鉄筋の劣化が進み材料強度低下が考えられ耐荷力に影響を与えている。			
34		抜け落ち	部材無し	損傷なし	—	—	コンクリートの抜け落ちがある。			
35		床版ひび割れ	部材無し	性状、主として一方向のみに発生。 ひび割れ幅0.1mm未満 ひび割れ間隔1.0m以上	性状、格子状直前の状況に発生。 ひび割れ幅0.2mm未満 ひび割れ間隔0.5m程度	性状、格子状に発生。 ひび割れ幅0.2mm以上が連続 ひび割れ間隔0.2m以下の格子状	床版の疲労による劣化が加速期に達して、構造が等方性版から異方性へと変化し、耐荷力に影響すると思われる。			
36		定着部の異常	部材無し	軽微なひび割れがある。	PC鋼材の定着部より錆汁が認められる。または定着部に損傷が認められる。	PC鋼材の定着部のコンクリートが剥離している。または定着部に著しい損傷がある。	定着具やアンカープレートに大きな変形が見られる。			
37	漏水・滞水	部材無し	損傷なし	伸縮装置からの漏水や排水装置からの漏水による伝い水がある。	—	—				

点検項目		県市町名	路線名	橋種	点検日						
		橋梁コード	位置(起点側)	橋長(m)	点検者						
		橋梁名	位置(終点側)	総径間数	点検径間番号						
					上部工塗装面積						
点検項目	損傷状況	損傷程度の評価(該当する項目に○を付けて下さい)点検項目中の()内は健全性評価目安である					写真番号 (複数記入可)	損傷数量 損傷度B	損傷数量 損傷度A	備考	
		該当部材 無し	O.K (健全性: I)	B1 (健全性: I ~ II)	B2 (健全性: (I ~ III))	A (健全性: II ~ IV)					
38	鋼 橋脚躯体	腐食・防食機能の劣化	部材無し	皮膜に変色が生じ、錆の発生があるが部分的である。	皮膜が剥離し全体に錆の発生がある。板厚減少を伴わない局所的な膨張がある。	錆の発生により部材に著しい膨張が生じ板厚の減少が見られる。	耐荷力に影響に影響(断面定数の低下)と思われる板厚の減少がある。			耐荷力に影響する部材	
39		亀裂・破断	部材無し	損傷なし	溶接接合部や鋼材の塗装表面に局所的な塗膜割れや亀裂やなどが見られる。亀裂が線状でなく短く、数が少ない。	溶接接合部や鋼材の塗装表面に線状の亀裂がある。亀裂の長さや発生本数が比較的長く多い。亀裂が鋼材内部に生じている可能性がある。	耐荷力に影響に影響(断面定数の低下)と思われる大きな亀裂や破断がある。				
40		ゆるみ・脱落	部材無し	損傷なし	一群の添接部所に於いて5%未満のボルトに異常がある。 (使用材料は問わない)	一群の添接部所に於いて5%以上のボルトに異常がある。 (使用材料は問わない)	一群の添接部所に於いて5%以上のボルトに異常があり且つ一列一行に一本以上の異常がある。 B2の損傷状況且つ遅れ破壊を伴う材料(F11T)を使用。				
41		変形・欠損	部材無し	当て傷等軽微な損傷がある。	局所的な変形や欠損がある。	著しい変形(座屈等)や欠損がある。	耐荷力に影響(断面定数の低下)と思われる変形や欠損がある。				
42	コンクリート 橋台躯体・橋脚躯体	ひび割れ	部材無し	ひび割れ幅0.2mm未満 ひび割れ間隔1.0m以上	ひび割れ幅0.3mm未満 ひび割れ間隔0.5m程度	ひび割れ幅0.3mm以上 ひび割れ間隔0.5m未満	耐荷力に影響と思われるひび割れがある。 主桁が落橋する様な大きな割れがある。				
43		剥離・鉄筋露出	部材無し	局所的な剥離が見られ鉄筋の露出があるが錆の発生は少ない。	主たる鉄筋(主筋、スターラップ)が露出しているが腐食は軽微である。	主たる鉄筋(主筋、スターラップ)が露出し腐食が著しく断面の減少が見られる。	主たる鉄筋の全てが露出し腐食が著しく、耐荷力に影響と思われる断面減少が見られる。				
44		漏水・遊離石灰	部材無し	損傷なし	ひび割れから漏水が生じているが、錆汁や遊離石灰はほとんどみられない。	ひび割れから著しい漏水や遊離石灰、僅かな錆汁が発生している。 (単なる水滴や表面の伝い水による遊離石灰は除く)	内部鉄筋の腐食を表すような多くの錆汁が発生している。 発生箇所が広範囲で耐荷力に影響と思われる鉄筋の断面減少が予想される。				
45	基礎	沈下・移動・傾斜	部材無し	損傷なし	沈下、移動や傾斜の疑いがある。	明らかな沈下、移動、傾斜現象が見られる。	落橋の恐れがある。				
46		洗掘	部材無し	損傷なし	軽微な洗掘がある。	比較的大きな(深く、長く、広い)洗掘現象が見られる。	落橋の恐れがある。				
点検項目	損傷状況	損傷程度の評価(該当する項目に○を付けて下さい)点検項目中の()内は健全性評価目安である					写真番号 (複数記入可)	損傷数量 損傷度B	損傷数量 損傷度A	備考	
		該当部材 無し	O.K (健全性: I)	B1 (健全性: I ~ II)	B2 (健全性: (I ~ III))	A (健全性: II ~ IV)					
47	その他 支 承	腐食、亀裂、ゆるみ・脱落、破断など	部材無し	板厚減少が見られない程度の腐食が発生。	鋼材表面に著しい膨張が発生。	腐食により崩壊、消失をきたし路面に段差が生じ通行車両に支障。					
48		本体	部材無し	損傷なしor損傷軽微	支承の一部機能(固定、可動、回転)が損なわれている。	支承の機能が全消失している。					
49		変形・欠損	部材無し	損傷なし	支承の機能障害に至らない程度の変形、欠損がある。	支承の機能障害を伴う様な変形や欠損がある。					
50	アンカーボルト	腐食、亀裂、ゆるみ・脱落、破断など	部材無し	部材径に減少が見られない程度の腐食が発生。	著しい腐食による膨張や破断、抜け出しがある。	-					
51	落橋防止システム	腐食、破断、変形、欠損、ひび割れ、剥離、鉄筋露出	部材無し	局所的に軽微な損傷がある。	著しい損傷がある。	-					
		種類	<input type="checkbox"/> 鋼 <input type="checkbox"/> コンクリート <input type="checkbox"/> PC鋼材連結 <input type="checkbox"/> 突起 <input type="checkbox"/> 桁下鋼材突起 <input type="checkbox"/> ピン連結 <input type="checkbox"/> チェーン連結 <input type="checkbox"/> 沓座拡幅								
52	モルタル	ひび割れ、変形・欠損	部材無し	ひび割れ幅0.3mm以下	剥離、欠損が著しい。	-					
53	その他	部材無し	損傷なし	損傷あり	-					下部工背後の凹凸等	

現地調査までに記入

現地で記入

損傷程度評価に○を付ける。
概算数量及び備考を記入。
現地点検時、塗装履歴が表示されているときは、その面積を記入

点検項目	県市町名		路線名	〇〇〇線	橋種	本線橋	点検日	2015/4/1
	橋梁コード	〇〇〇〇	位置(起点側)		橋長(m)	100	点検者	三重 太郎
	橋梁名	〇〇橋	位置(終点側)		総径間数	3	点検径間番号	1
							上部工塗装面積	

点検項目	損傷状況	損傷程度の評価(該当する項目に○を付けて下さい)点検項目中の()内は健全性評価目安である					写真番号 (複数記入可)	損傷数量 損傷度B	損傷数量 損傷度A	備考	
		該当部材 無し	O.K (健全性: I)	B1 (健全性: I ~ II)	B2 (健全性: I ~ II)	A (健全性: I ~ II)					
橋面	路面	路面の凹凸	部材無し	凹凸20mm未満の損傷がある。損傷箇所が少ない。	凹凸20mm以上の損傷がある。損傷箇所が比較的多い。	凹凸30mm以上の損傷がある。損傷箇所や面積が多く広い。	車両等の通行に支障がある(凹凸40mm以上)損傷がある。	箇所	箇所	凹凸なし	
		舗装の異常	部材無し	舗装ひび割れ幅5mm以下であるが床版に達している。発生箇所密集度が低い。	舗装ひび割れ幅5mm以上で深さが床版に達している。発生箇所数や面積は少ない。	舗装ひび割れ幅10mm以上で舗装直下のコンクリートが土砂化している。発生箇所や面積が多い。	車両等の通行に於いて減速や迂回を必要とするような損傷がある。	30	m2	m2	
	伸縮装置	遊間の異常	部材無し	各遊間に差はあるが必要程度の遊間は確保されている。	各遊間の間隔が極端に異なっている。直角方向にずれている。	装置の櫛の歯が完全に離れている。桁とパラペットあるいは桁同士が接触している。	遊間の異常な広がりや装置の座屈変形によるせり上がり等により、第三者に障害を及ぼす懸念がある。	箇所	箇所		
		路面の凹凸	部材無し	凹凸20mm未満の損傷がある。損傷箇所が少ない。	凹凸20mm以上の損傷がある。損傷箇所が比較的多い。	凹凸30mm以上の損傷がある。損傷箇所や面積が多く広い。	車両等の通行に支障がある(凹凸40mm以上)損傷がある。	箇所	箇所		
		鋼製ジョイントの場合 腐食、亀裂、ゆるみ・脱落、破断など	部材無し	鋼材の表面に部分的な腐食がある。	鋼材表面全体に錆が発生している。櫛の歯の一部に軽微な破断や欠損がある。	錆の発生が激しく板厚の減少がある。櫛の歯に比較的大きな亀裂や破断がある。	櫛の歯の破断や欠損により、通行車両等に障害(バンク、転倒)を及ぼす懸念がある。	箇所	箇所		
		変形・欠損、漏水など (ゴム系)	部材無し	経年劣化がある。	部分的に軽度の変形・欠損、漏水などがある。	部材全体に劣化が進み比較的大きな変形や欠損がある。欠損箇所から橋面下への漏水が見られる。	部材に著しい変形や欠損が生じている。第三者の通行に支障がある。	1	箇所	箇所	ゴム欠損 漏水あり
		高欄・防護柵・地覆・中央分離帯	腐食、変形・欠損など	部材無し	(鋼部材の場合)錆は表面錆で板厚の減少や断面欠損はなく、錆びの面積は50%未満。部材等の変形、欠損はない。(コンクリート部材の場合)部材等の変形、欠損、鉄筋の露出はない。	(鋼部材の場合)錆は表面錆で板厚の減少や断面欠損はないが、錆びの面積は50%以上。部材等の変形、欠損はあるが軽微である。(コンクリート部材の場合)部材等の変形、欠損、鉄筋の露出はあるが軽微である。	(鋼部材の場合)錆による板厚の減少や断面欠損があるが、錆びの面積は50%未満。部材の一部が局部的に著しく変形し一部が欠損している。支柱下地覆が欠損し支柱が浮いている。(コンクリート部材の場合)部材の一部が局部的に著しく変形し一部が欠損している。	(鋼部材の場合)車両の衝突による変形や腐食による断面欠損があり、錆びの面積が50%以上である。損傷により逸脱防止構造(支柱や梁)の機能が失われ車両や歩行人に支障がある。(コンクリート部材の場合)損傷により逸脱防止構造(支柱や梁)の機能が失われ車両や歩行人に支障がある。	m	m	錆の面積30%
	排水施設 柵、管	腐食、変形・欠損など	部材無し	軽微な腐食はあるが、変形、欠損はない。	部材が局部的に変形している。排水管全体が腐食している。	部材全体が著しく腐食して部分的に欠損している。柵の一部に変形や欠損がある。	排水管の腐食が著しく部材が欠損し、機能不全を生じている。排水柵が消失し空隙が生じ第三者の通行に支障がある。	4	箇所	箇所	排水管欠損
	その他付属物	腐食、変形・欠損など	部材無し	軽微な腐食はあるが、変形、欠損はない。	部材が局部的に変形し、一部が著しく欠損している。	部材が全体的に著しく変形したり、欠損している。	橋上施設部材の変形や異常により第三者の通行に支障がある。	1	箇所	箇所	照明灯錆

現地調査までに記入

現地で記入

点検項目	県市町名		路線名	〇〇〇線	橋種	本線橋	点検日	2015/4/1
	橋梁コード	〇〇〇〇	位置(起点側)		橋長(m)	100	点検者	三重 太郎
	橋梁名	〇〇橋	位置(終点側)		総径間数	3	点検径間番号	1
							上部工塗装面積	

現地点検時、塗装履歴が表示されているときは、その面積を記入

点検項目	損傷状況	損傷程度の評価(該当する項目に○を付けて下さい)点検項目中の()内は健全性評価目安である					写真番号 (複数記入可)	損傷数量 損傷度B	損傷数量 損傷度A	備考	
		該当部材 無し	O.K (健全性: I)	B1 (健全性: I ~ II)	B2 (健全性: I ~ III)	A (健全性: II ~ IV)					
10	腐食・防食機能の劣化	部材無し	皮膜に変色はない。錆は表面錆で板厚の減少や断面欠損はなく、錆びの面積は50%未満である。	皮膜が一部劣化している。錆は表面錆で板厚の減少や断面欠損はない。(錆び面積50%以上)板厚減少を伴わない局所的な膨張がある。	皮膜が劣化し点錆が発生している。錆の発生により部材(支点、支間中央付近以外)に著しい膨張が生じ板厚の減少が見られる。	皮膜の劣化範囲が広くし点錆が発生している。耐荷力に影響(断面定数の低下)と思われる板厚の減少が(支点、支間中央付近など)ある。		m2	m2	耐荷性に直接影響する	
	亀裂・破断	部材無し	損傷なし	溶接接合部や鋼材の塗装表面に局所的な塗膜割れや亀裂などが見られる。亀裂が線状でなく短く、数が少ない。	溶接接合部や鋼材の塗装表面に線状の亀裂がある。亀裂の長さや発生本数が比較的長く多い。亀裂が鋼材内部に生じている可能性がある。	耐荷力に影響(断面定数の低下)と思われる大きな亀裂や破断が(支間中央付近)にある。		箇所	箇所		
	ゆるみ・脱落	部材無し	損傷なし	一群の添接部所に於いて5%未満のボルトに異常がある。 (使用材料は問わない)	一群の添接部所に於いて5%以上のボルトに異常がある。 (使用材料は問わない)	一群の添接部所に於いて5%以上のボルトに異常がある。 B2の損傷状況且つ遅れ破壊を伴う材料(F11T)を使用。					
	変形・欠損	部材無し	当て傷等軽微な損傷がある。	局所的な変形や欠損がある。	著しい変形(座屈等)や欠損がある。	耐荷力に影響(断面定数の低下)と思われる変形や欠損が(支間中央付近など)ある。					
14	腐食・防食機能の劣化	部材無し	皮膜に変色はない。錆は表面錆で板厚の減少や断面欠損はなく、錆びの面積は50%未満である。	皮膜が一部劣化している。錆は表面錆で板厚の減少や断面欠損はない。(錆び面積50%以上)板厚減少を伴わない局所的な膨張がある。	皮膜が劣化し点錆が発生している。錆の発生により部材(支点、支間中央付近以外)に著しい膨張が生じ板厚の減少が見られる。	耐荷力に影響(断面定数の低下)と思われる板厚の減少が(接合部、支間中央付近など)ある。		m2	m2	耐荷性に影響する部材	
	亀裂・破断	部材無し	損傷なし	溶接接合部や鋼材の塗装表面に局所的な塗膜割れや亀裂などが見られる。亀裂が線状でなく短く、数が少ない。	溶接接合部や鋼材の塗装表面に線状の亀裂があり、亀裂の長さや発生本数が比較的長く多い。亀裂が鋼材内部に生じている可能性がある。	耐荷力に影響(断面定数の低下)と思われる大きな亀裂や破断が(接合部、支間中央付近など)ある。		箇所	箇所		
	ゆるみ・脱落	部材無し	損傷なし	一群の添接部所に於いて5%未満のボルトに異常がある。 (使用材料は問わない)	一群の添接部所に於いて5%以上のボルトに異常がある。 (使用材料は問わない)	一群の添接部所に於いて5%以上のボルトに異常がある。 B2の損傷状況且つ遅れ破壊を伴う材料(F11T)を使用。					
	変形・欠損	部材無し	当て傷等軽微な損傷がある。	局所的な変形や欠損がある。	著しい変形(座屈等)や欠損がある。	耐荷力に影響(断面定数の低下)と思われる変形や欠損がある。					
	腐食・防食機能の劣化	部材無し	皮膜に変色はない。錆は表面錆で板厚の減少や断面欠損はなく、錆びの面積は50%未満である。	皮膜が一部劣化している。錆は表面錆で板厚の減少や断面欠損はない。(錆び面積50%以上)板厚減少を伴わない局所的な膨張がある。	皮膜が劣化し点錆が発生している。錆の発生により部材(支点、支間中央付近以外)に著しい膨張が生じ板厚の減少が見られる。	耐荷力に影響(断面定数の低下)と思われる板厚の減少が(接合部、支間中央付近など)ある。		m2	m2	耐荷性に影響する部材	
18	腐食・防食機能の劣化	部材無し	皮膜に変色はない。錆は表面錆で板厚の減少や断面欠損はなく、錆びの面積は50%未満である。	皮膜が一部劣化している。錆は表面錆で板厚の減少や断面欠損はない。(錆び面積50%以上)板厚減少を伴わない局所的な膨張がある。	皮膜が劣化し点錆が発生している。錆の発生により部材(支点、支間中央付近以外)に著しい膨張が生じ板厚の減少が見られる。	耐荷力に影響(断面定数の低下)と思われる板厚の減少が(接合部、支間中央付近など)ある。		m2	m2	耐荷性に影響する部材	
	亀裂・破断	部材無し	損傷なし	溶接接合部や鋼材の塗装表面に局所的な塗膜割れや亀裂などが見られる。亀裂が線状でなく短く、数が少ない。	溶接接合部や鋼材の塗装表面に線状の亀裂がある。亀裂の長さや発生本数が比較的長く多い。亀裂が鋼材内部に生じている可能性がある。	耐荷力に影響(断面定数の低下)と思われる大きな亀裂や破断がある。		箇所	箇所		
	ゆるみ・脱落	部材無し	損傷なし	一群の添接部所に於いて5%未満のボルトに異常がある。 (使用材料は問わない)	一群の添接部所に於いて5%以上のボルトに異常がある。 (使用材料は問わない)	一群の添接部所に於いて5%以上のボルトに異常がある。 B2の損傷状況且つ遅れ破壊を伴う材料(F11T)を使用。					
	変形・欠損	部材無し	当て傷等軽微な損傷がある。	局所的な変形や欠損がある。	著しい変形(座屈等)や欠損がある。	耐荷力に影響(断面定数の低下)と思われる変形や欠損がある。					

サンプルは、コンクリート上部工のため「部材無し」に○を付ける。

上部工

鋼

横桁・縦桁

床版

現地調査までに記入

現地で記入

点検項目	県市町名		路線名	〇〇〇線	橋種	本線橋	点検日	2015/4/1
	橋梁コード	〇〇〇〇	位置(起点側)		橋長(m)	100	点検者	三重 太郎
	橋梁名	〇〇橋	位置(終点側)		総径間数	3	点検径間番号	1
							上部工塗装面積	

現地点検時、塗装履歴が表示されているときは、その面積を記入

点検項目	損傷状況	損傷程度の評価(該当する項目に○を付けて下さい)点検項目中の()内は健全性評価目安である					写真番号 (複数記入可)	損傷数量 損傷度B	損傷数量 損傷度A	備考
		該当部材 無し	O.K (健全性: I)	B1 (健全性: I ~ II)	B2 (健全性: I ~ III)	A (健全性: II ~ IV)				
22-26	主桁	RC桁のひび割れ	部材無し	ひび割れ幅0.2mm未満 ひび割れ間隔1.0m以上	ひび割れ幅0.3mm未満 ひび割れ間隔0.5m程度	ひび割れ幅0.3mm以上 ひび割れ間隔0.5m未満	耐荷力に影響すると思われるひび割れがある。 せん断ひび(支点付近に斜め45°)が発生している。	m2	m2	ひび割れ下面 0.05mm、側面 0.15mm
		PC桁のひび割れ	部材無し	ひび割れ幅0.1mm未満 ひび割れ間隔1.0m以上	ひび割れ幅0.2mm未満 ひび割れ間隔0.5m程度	ひび割れ幅0.2mm以上 ひび割れ間隔0.5m未満	耐荷力に影響すると思われるひび割れがある。	m2	m2	
		剥離・鉄筋露出	部材無し	局部的な剥離が見られ鉄筋の露出があるが錆の発生は少ない。	主たる鉄筋の一部(主筋、スターラップ)が露出しているが腐食は軽微である。	主たる鉄筋(主筋、スターラップ)が露出し腐食が著しく、わずかに断面の減少が見られる。	主たる鉄筋のほとんどが露出し腐食が著しく、耐荷力に影響すると思われる断面減少が見られる。	m2	m2	なし
		漏水・遊離石灰	部材無し	損傷なし	ひび割れから漏水が生じているが、錆汁や遊離石灰はほとんどみられない。	ひび割れから著しい漏水や遊離石灰、僅かな錆汁が発生している。 (単なる水滴や表面の伝い水による)	内部鉄筋の腐食を表すような多くの漏水や錆汁が発生している。	m2	m2	遊離石灰が少し見られる
		変形・欠損	部材無し	当て傷等軽微な損傷がある。	局部的な変形や欠損がある。	著しい変形がある。 欠損が著しい。	耐荷力に影響(断面定数の低下)と思われる変形や欠損(支点、支間中央付近など)がある。	箇所	箇所	なし
27-31	横桁・縦桁	RC桁のひび割れ	部材無し	ひび割れ幅0.2mm未満 ひび割れ間隔1.0m以上	ひび割れ幅0.3mm未満 ひび割れ間隔0.5m程度	ひび割れ幅0.3mm以上 ひび割れ間隔0.5m未満	耐荷力に影響すると思われるひび割れがある。 せん断ひび(支点付近に斜め45°)が発生している。	m2	m2	ひび割れ0.15mm
		PC桁のひび割れ	部材無し	ひび割れ幅0.1mm未満 ひび割れ間隔1.0m以上	ひび割れ幅0.2mm未満 ひび割れ間隔0.5m程度	ひび割れ幅0.2mm以上 ひび割れ間隔0.5m未満	耐荷力に影響すると思われるひび割れがある。	m2	m2	
		剥離・鉄筋露出	部材無し	局部的な剥離が見られ鉄筋の露出があるが錆の発生は少ない。	主たる鉄筋(主筋、スターラップ)が露出しているが腐食は軽微である。	主たる鉄筋(主筋、スターラップ)が露出し腐食が著しく断面の減少が見られる。	主たる鉄筋のほとんどが露出し腐食が著しく、耐荷力に影響すると思われる断面減少が見られる。	m2	m2	なし
		漏水・遊離石灰	部材無し	損傷なし	ひび割れから漏水が生じているが、錆汁や遊離石灰はほとんどみられない。	ひび割れから著しい漏水や遊離石灰、僅かな錆汁が発生している。 (単なる水滴や表面の伝い水による)	内部鉄筋の腐食を表すような多くの漏水や錆汁が発生している。	m2	m2	遊離石灰が少し見られる
		変形・欠損	部材無し	当て傷等軽微な損傷がある。	変形がある。 または欠損がある。	著しい変形がある。 または欠損が著しい。	耐荷力に影響すると思われる変形や欠損がある。	箇所	箇所	なし
32-37	床版 (張出部含む)	剥離・鉄筋露出	部材無し	局部的な剥離が見られ鉄筋の露出があるが錆の発生は少ない。	主たる鉄筋(主筋、スターラップ)が露出しているが腐食は軽微である。	主たる鉄筋(主筋、スターラップ)が露出し腐食が著しく僅かに断面の減少が見られる。	主たる鉄筋のほとんどが露出し腐食が著しく、耐荷力に影響すると思われる断面減少が見られる。	m2	m2	なし
		漏水・遊離石灰、 うき、変色・劣化	部材無し	損傷なし	コンクリートの劣化がある。ひび割れから漏水が生じているが、錆汁や遊離石灰はほとんどみられない。	コンクリートの劣化が激しい。ひび割れから著しい漏水や遊離石灰、錆汁が生じている。 (単なる水滴や表面の伝い水による遊離石灰は除く)	漏水等の風化作用によりコンクリートや鉄筋の劣化が進み材料強度低下が考えられ耐荷力に影響を与えている。	1	m2	
		抜け落ち	部材無し	損傷なし	-	-	コンクリートの抜け落ちがある。	m2	m2	
		床版ひび割れ	部材無し	性状、主として一方向のみに発生。 ひび割れ幅0.1mm未満 ひび割れ間隔1.0m以上	性状、格子状直前の状況に発生。 ひび割れ幅0.2mm未満 ひび割れ間隔0.5m程度	性状、格子状に発生。 ひび割れ幅0.2mm以上が連続 ひび割れ間隔0.2m以下の格子状	床版の疲労による劣化が加速期に達して、構造が等方性版から異方性へと変化し、耐荷力に影響すると思われる。	1	m2	幅0.15mm 間隔0.5m
		定着部の異常	部材無し	軽微なひび割れがある。	PC鋼材の定着部より錆汁が認められる。または定着部に損傷が認められる。	PC鋼材の定着部のコンクリートが剥離している。または定着部に著しい損傷がある。	定着具やアンカープレートに大きな変形が見られる。	箇所	箇所	
37	漏水・滞水	部材無し	損傷なし	伸縮装置からの漏水や排水装置からの漏水による伝い水がある。	-	-	箇所	箇所		

現地調査までに記入

現地で記入

点検項目	県市町名		路線名	〇〇〇線	橋種	本線橋	点検日	2015/4/1
	橋梁コード	〇〇〇〇	位置(起点側)		橋長(m)	100	点検者	三重 太郎
	橋梁名	〇〇橋	位置(終点側)		総径間数	3	点検径間番号	1
							上部工塗装面積	---

現地点検時、塗装履歴が表示されているときは、その面積を記入

点検項目	損傷状況	損傷程度の評価(該当する項目に○を付けて下さい)点検項目中の()内は健全性評価目安である					写真番号 (複数記入可)	損傷数量 損傷度B	損傷数量 損傷度A	備考
		該当部材 無し	O.K (健全性: I)	B1 (健全性: I ~ II)	B2 (健全性: I ~ III)	A (健全性: II ~ IV)				
38	腐食・防食機能の劣化	部材無し	皮膜に変色が生じ、錆の発生があるが部分的である。	皮膜が剥離し全体に錆の発生がある。板厚減少を伴わない局所的な膨張がある。	錆の発生により部材に著しい膨張が生じ板厚の減少が見られる。	耐力に影響に影響(断面定数の低下)と思われる板厚の減少がある。		m2	m2	
39	亀裂・破断	部材無し	損傷なし	溶接接合部や鋼材の塗装表面に局所的な塗膜割れや亀裂などが見られる。亀裂が線状でなく短く、数が少ない。	溶接接合部や鋼材の塗装表面に線状の亀裂がある。亀裂の長さや発生本数が比較的長く多い。亀裂が鋼材内部に生じている可能性がある。	耐力に影響に影響(断面定数の低下)と思われる大きな亀裂や破断がある。		箇所	箇所	
40	ゆるみ・脱落	部材無し	損傷なし	一群の添接部所に於いて5%未満のボルトに異常がある。 (使用材料は問わない)	一群の添接部所に於いて5%以上のボルトに異常がある。 (使用材料は問わない)	一群の添接部所に於いて5%以上のボルトに異常がある。 B2の損傷状況且つ遅れ破壊を伴う材料(F11T)を使用。		箇所	箇所	
41	変形・欠損	部材無し	当て傷等軽微な損傷がある。	局所的な変形や欠損がある。	著しい変形(座屈等)や欠損がある。	耐力に影響(断面定数の低下)と思われる変形や欠損がある。		箇所	箇所	
42	ひび割れ	部材無し	ひび割れ幅0.2mm未満 ひび割れ間隔1.0m以上	ひび割れ幅0.3mm未満 ひび割れ間隔0.5m程度	ひび割れ幅0.3mm以上 ひび割れ間隔0.5m未満	耐力に影響と思われるひび割れがある。 主桁が落橋する様な大きな割れがある。		m2	m2	0.4mm、0.4m
43	剥離・鉄筋露出	部材無し	局所的な剥離が見られ鉄筋の露出があるが錆の発生は少ない。	主たる鉄筋(主筋、スターラップ)が露出しているが腐食は軽微である。	主たる鉄筋(主筋、スターラップ)が露出し腐食が著しく断面の減少が見られる。	主たる鉄筋の全てが露出し腐食が著しく、耐力に影響と思われる断面減少が見られる。		m2	m2	
44	漏水・遊離石灰	部材無し	損傷なし	ひび割れから漏水が生じているが、錆汁や遊離石灰はほとんどみられない。	ひび割れから著しい漏水や遊離石灰、僅かな錆汁が発生している。 (単なる水滴や表面の伝い水による遊離石灰は除く)	内部鉄筋の腐食を表すような多くの錆汁が発生している。 発生箇所が広範囲で耐力に影響と思われる鉄筋の断面減少が予想される。		m2	m2	
45	沈下・移動・傾斜	部材無し	損傷なし	沈下、移動や傾斜の疑いがある。	明らかな沈下、移動、傾斜現象が見られる。	落橋の恐れがある。		cm	cm	詳細調査
46	洗掘	部材無し	損傷なし	軽微な洗掘がある。	比較的大きな(深く、長く、広い)洗掘現象が見られる。	落橋の恐れがある。		箇所	箇所	
点検項目	損傷状況	損傷程度の評価(該当する項目に○を付けて下さい)点検項目中の()内は健全性評価目安である					写真番号 (複数記入可)	損傷数量 損傷度B	損傷数量 損傷度A	備考
		該当部材 無し	O.K (健全性: I)	B1 (健全性: I ~ II)	B2 (健全性: I ~ III)					
47	腐食、亀裂、ゆるみ・脱落、破断など	部材無し	板厚減少が見られない程度の腐食が発生。	鋼材表面に著しい膨張が発生。	腐食により崩壊、消失をきたし路面に段差が生じ通行車両に支障。		m2	m2	A1 4箇所	
48	支承の機能障害	部材無し	損傷なしor損傷軽微	支承の一部機能(固定、可動、回転)が損なわれている。	支承の機能が全消失している。		箇所	箇所	腐食による	
49	変形・欠損	部材無し	損傷なし	支承の機能障害に至らない程度の変形、欠損がある。	支承の機能障害を伴う様な変形や欠損がある。		箇所	箇所		
50	アンカーボルト	部材無し	部材径に減少が見られない程度の腐食が発生。	著しい腐食による膨張や破断、抜け出しがある。	-		箇所	箇所	なし	
51	落橋防止システム	部材無し	局所的に軽微な損傷がある。	著しい損傷がある。	-		箇所	箇所	0.55mm	
	種類	<input type="checkbox"/> 鋼 <input checked="" type="checkbox"/> コンクリート <input type="checkbox"/> PC鋼材連結 <input checked="" type="checkbox"/> 突起 <input type="checkbox"/> 桁下鋼材突起 <input type="checkbox"/> ピン連結 <input type="checkbox"/> チェーン連結 <input checked="" type="checkbox"/> 沓座拡幅								
52	モルタル	部材無し	ひび割れ幅0.3mm以下	剥離、欠損が著しい。	-		箇所	箇所		

53	その他	部材無し	損傷なし	損傷あり	-		箇所	箇所
----	-----	------	------	------	---	--	----	----

ボックスカルバート用チェックシート

点検項目		縣市町名	路線名	橋種	点検日						
		橋梁コード	位置(起点側)	橋長(m)	点検者						
		橋梁名	位置(終点側)	総径間数	点検径間番号						
					上部工塗装面積						
点検項目	損傷状況	損傷程度の評価(該当する項目に○を付けて下さい)点検項目中の()内は健全性評価目安である					写真番号 (複数記入可)	損傷数量 損傷度B	損傷数量 損傷度A	備考	
		該当部材 無し	O.K (健全性: I)	B1 (健全性: I ~ II)	B2 (健全性: I ~ II)	A (健全性: I ~ II)					
1	路面	路面の凹凸	部材無し	凹凸20mm未満の損傷がある。損傷箇所が少ない。	凹凸20mm以上の損傷がある。損傷箇所が比較的多い。	凹凸30mm以上の損傷がある。損傷箇所や面積が多く広い。	車両等の通行に支障がある(凹凸40mm以上)損傷がある。			供用性を評価	
		舗装の異常	部材無し	舗装ひび割れ幅5mm以下である。床版に達している。発生箇所数が低い。	舗装ひび割れ幅5mm以上で深さが床版に達している。発生箇所数や面積は少ない。	舗装ひび割れ幅10mm以上で舗装直下のコンクリートが土砂化している。発生箇所や面積が多い。	車両等の通行に於いて減速や迂回を必要とするような損傷がある。				
		高欄・防護柵・地覆・中央分離帯	部材無し	(鋼部材の場合)錆は表面錆で板厚の減少や断面欠損はなく、錆びの面積は50%未満。部材等の変形、欠損はない。(コンクリート部材の場合)部材等の変形、欠損、鉄筋の露出はない。	(鋼部材の場合)錆は表面錆で板厚の減少や断面欠損はないが、錆びの面積は50%以上。部材等の変形、欠損はあるが軽微である。(コンクリート部材の場合)部材等の変形、欠損、鉄筋の露出はあるが軽微である。	(鋼部材の場合)錆による板厚の減少や断面欠損があるが、錆びの面積は50%未満。部材の一部が局部的に著しく変形し一部が欠損している。支柱下地覆が欠損し支柱が浮いている。(コンクリート部材の場合)部材の一部が局部的に著しく変形し一部が欠損している。	(鋼部材の場合)車両の衝突による変形や腐食による断面欠損があり、錆びの面積が50%以上である。損傷により逸脱防止構造(支柱や梁)の機能が失われ車両や歩行人に支障がある。(コンクリート部材の場合)損傷により逸脱防止構造(支柱や梁)の機能が失われ車両や歩行人に支障がある。			供用性を評価	
点検項目	損傷状況	損傷程度の評価(該当する項目に○を付けて下さい)点検項目中の()内は健全性評価目安である					写真番号 (複数記入可)	損傷数量 損傷度B	損傷数量 損傷度A	備考	
		該当部材 無し	O.K (健全性: I)	B1 (健全性: I ~ II)	B2 (健全性: I ~ III)	A (健全性: II ~ IV)					
32	主桁 (頂版)	剥離・鉄筋露出	部材無し	局所的な剥離が見られ鉄筋の露出があるが錆の発生は少ない。	主たる鉄筋(主筋、スターラップ)が露出しているが腐食は軽微である。	主たる鉄筋(主筋、スターラップ)が露出し腐食が著しく僅かに断面の減少が見られる。	主たる鉄筋のほとんどが露出し腐食が著しく、耐力に影響すると思われる断面減少が見られる。			耐荷性に直接影響する	
		漏水・遊離石灰、うき、変色・劣化	部材無し	損傷なし	コンクリートの劣化がある。ひび割れから漏水が生じているが、錆汁や遊離石灰はほとんどみられない。	コンクリートの劣化が激しい。ひび割れから著しい漏水や遊離石灰、錆汁が生じている。(単なる水滴や表面の伝い水による遊離石灰は除く)	漏水等の風化作用によりコンクリートや鉄筋の劣化が進み材料強度低下が考えられ耐力に影響を与えている。				
		抜け落ち	部材無し	損傷なし	-	-	コンクリートの抜け落ちがある。				
		床版ひび割れ	部材無し	性状、主として一方向のみに発生。ひび割れ幅0.1mm未満 ひび割れ間隔1.0m以上	性状、格子状直前の状況に発生。ひび割れ幅0.2mm未満 ひび割れ間隔0.5m程度	性状、格子状に発生。ひび割れ幅0.2mm以上が連続 ひび割れ間隔0.2m以下の格子状	床版の疲労による劣化が加速期に達して、構造が等方性版から異方性へと変化する。耐力に影響すると思われる。				
		定着部の異常	部材無し	軽微なひび割れがある。	PC鋼材の定着部より錆汁が認められる。または定着部に損傷が認められる。	PC鋼材の定着部のコンクリートが剥離している。または定着部に著しい損傷がある。	定着具やアンカープレートに大きな変形が見られる。				
		漏水・滞水	部材無し	損傷なし	-	-	伸縮や排水装置等からの漏水がある。支承付近に漏水による滞水がある。				

42	下部工	コンクリート	橋台 (側壁・底版)	ひび割れ	部材無し	ひび割れ幅0.2mm未満 ひび割れ間隔1.0m以上	ひび割れ幅0.3mm未満 ひび割れ間隔0.5m程度	ひび割れ幅0.3mm以上 ひび割れ間隔0.5m未満	耐力に影響すると思われるひび割れがある。 主桁が落橋する様な大きな割れがある。				
43				剥離・鉄筋露出	部材無し	局所的な剥離が見られ鉄筋の露出があるが錆の発生は少ない。	主たる鉄筋(主筋、スターラップ)が露出しているが腐食は軽微である。	主たる鉄筋(主筋、スターラップ)が露出し腐食が著しく断面の減少が見られる。	主たる鉄筋の全てが露出し腐食が著しく、耐力に影響すると思われる断面減少が見られる。				
44				漏水・遊離石灰	部材無し	損傷なし	ひび割れから漏水が生じているが、錆汁や遊離石灰はほとんどみられない。	ひび割れから著しい漏水や遊離石灰、僅かな錆汁が発生している。 (単なる水滴や漏水等による遊離石灰は除く)	内部鉄筋の腐食を表すような多くの錆汁が発生している。 発生箇所が広範囲で耐力に影響すると思われる鉄筋の断面減少が予想される。				
45		基礎	沈下,移動,傾斜	部材無し	損傷なし	沈下、移動や傾斜の疑いがある。	明らかな沈下、移動、傾斜現象が見られる。	落橋の恐れがある。					
46			洗掘	部材無し	損傷なし	軽微な洗掘がある。	比較的大きな(深く、長く、広い)洗掘現象が見られる。	落橋の恐れがある。					
53	その他			部材無し	損傷なし	損傷あり	—					上下流(起終点)部護岸のずれ等	

チェックシート(損傷図)

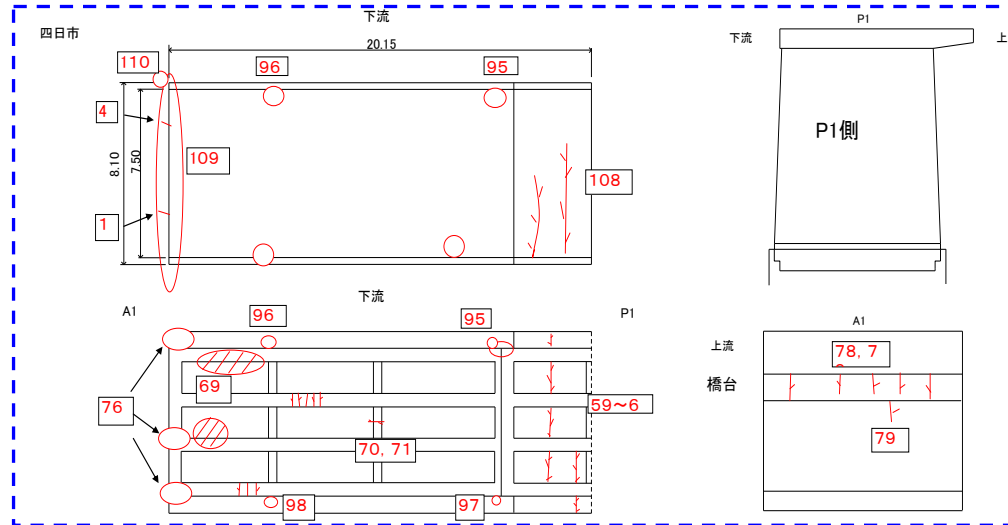
点検項目	管理事務所	路線名	橋種	点検日													
	橋梁コード		橋長(m)	点検者													
	橋梁名		総径間数	点検径間番号													
備考および概略図	<p>※その他損傷に対する記述、損傷スケッチ図、該当する写真番号を必要に応じて記入してください。※径間番号は、路線起点側を1番とする。但し、河川に架設されている橋梁は、上流側から見て左岸を1番とする。</p>																
	<table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <caption>凡例</caption> <tr> <td>ひび割れ</td> <td></td> </tr> <tr> <td>遊離石灰</td> <td></td> </tr> <tr> <td>剝離</td> <td></td> </tr> <tr> <td>漏水</td> <td></td> </tr> <tr> <td>鉄筋露出</td> <td></td> </tr> <tr> <td>豆板・空洞</td> <td></td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td></td> </tr> </table>				ひび割れ		遊離石灰		剝離		漏水		鉄筋露出		豆板・空洞		その他
ひび割れ																	
遊離石灰																	
剝離																	
漏水																	
鉄筋露出																	
豆板・空洞																	
その他																	
点検結果の整理	傷度の最悪値を記入(悪い順:A, B2, B1, OK)	損傷の総合評価(部材単位) コメント		備考													
	路面																
	伸縮装置																
	高欄・防護柵																
	排水施設																
	その他付属物																
	主桁																
	横桁・縦桁																
	床版																
	下部工躯体																
	基礎																
	支承																

チェックシート(損傷図)

点検項目	管理事務所		路線名	〇〇〇線	橋種	本線橋	点検日	2010/2/1
	橋梁コード	〇〇〇〇			橋長(m)	100	点検者	三重 太郎
	橋梁名	〇〇橋			総径間数	12	点検径間番号	1

※その他損傷に対する記述、損傷スケッチ図、該当する写真番号を必要に応じて記入してください。※径間番号は、路線起点側を1番とする。但し、河川に架設されている橋梁は、上流側から見て左岸を1番とする。

備考および概略図



スケッチ図を描き、
損傷箇所を明記する

凡例	
ひび割れ	
遊離石灰	
剥離	
漏水	
鉄筋露出	
豆板・空洞	
その他	

点検結果を記

点検結果の整理	損傷度の最悪値を記入(悪い順:A, B2, B1, OK)		損傷の総合評価(部材単位) コメント	備考
	部材	評価		
路面	B1		舗装のひび割れが伸縮装置付近で発生している。	
伸縮装置	B2		一部欠損をしている。	
高欄・防護柵	OK			
排水施設	B1		排水管が欠損している。	
その他付属物	B1		照明灯が腐食している。	
主桁	OK		ひび割れ幅が0.15mm程度で、下面、側面に見られる。	
横桁・縦桁	OK			
床版	B1		端部に漏水、遊離石灰が見られる。	
下部工躯体	A		橋台/パラペット部にひび割れがある。	
基礎	不明			
支承	B1		全体に腐食している。	

橋梁基本

管理者		道路種別		路線番号		路線名		整理番号		整理番号		
基本諸元	(ふりがな)	橋梁コード		市町村名		大字小字名						
	橋名	分割番号										
	現旧新別	橋梁種別		橋梁分類		路面位置						
	上部工構造形式	架設年次		橋格		センサス年度						
	上部工使用材料	橋長 (m)		現況		センサス番号						
	上部工床版形式	最大支間長(m)		耐荷荷重		自動車類交通量						
	下部工基礎	総径間数		設置箇所		大型車交通量						
	舗装種別	(単位 m)	全幅員	車道幅員	路肩幅員左	路肩幅員右	歩道幅員左	歩道幅員右	中央帯幅員			
	適用示方書	幅員構成										
	緊急輸送道路指定	管理グループ		橋梁中心X座標		橋梁中心Y座標						
	架橋状態	備考										
	概略側面図・断面図・平面図							全景写真1				
全景写真2												

点検調書 (1/1)		点検区分		定期	緊急	前回点検日	径間番号		上部工構造形式				
		点検方法		目視	調査	点検種別	直営	委託	その他	支間長 (m)		下部工構造形式	
橋梁名		橋梁コード		建設部名		路線番号		分割番号		道路種別		路線名	
点検日		点検会社名		点検者名		市町村名							
部材 (部位)		前回点検の評価			代表的な損傷状況・位置などの概要								
		点検区分	損傷度 (最悪値)	健全性 (4段階)	写真 番号	点検区分	記 事					損傷度 (最悪値)	健全性 (4段階)
橋面工 (その他)	路面												
	伸縮装置												
	高欄 等												
	排水施設												
	その他付属物												
上部工	主桁												
	横桁・縦桁												
	床版												
下部工	下部工躯体												
	基礎												
支 承	本体												
	アンカーボルト												
	落橋防止システム												
	モルタル												
その他 部位 (部材)	点検施設												
	遮音施設												
	照明施設												
	添架物												
全体 損傷 概要										健全性	内容		
										I	構造物の機能に支障が生じていない状態		
										II	構造物の機能に支障が生じていないが、 予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい状		
										III	構造物の機能に支障が生じる可能性があり、 早期に措置を講ずべき状態		
										IV	構造物の機能に支障が生じている、又は生じる可能 性が		
備 考													

損傷スケッチ図 (1/〇)

橋梁名	橋梁コード 分割番号	建設部名	路線番号
		道路種別	路線名
点検日	点検会社名	点検者名	市町村名

上部工 or 下部工損傷位置図

損傷写真集 (1/〇)

橋梁名		橋梁コード 分割番号		建設部名 道路種別		路線番号 路線名		
点検日		点検会社名		点検者名		市町村名		
	写真番号				写真番号			
	径間番号				径間番号			
	部材番号				部材番号			
	損傷状況				損傷状況			
	健全性				健全性			
	備考				備考			
	写真番号				写真番号			
	径間番号				径間番号			
	部材番号				部材番号			
	損傷状況				損傷状況			
	健全性				健全性			
	備考				備考			

補修履歴調書 (1/〇)	橋梁名	橋梁コード	建設部名
		分割番号	道路種別
		径間番号	上部工構造形式
		支間長(m)	上部工使用材料
項目	内容	損傷概要のわかる図面	損傷概要のわかる写真
補修No.			
補修および改良年月日			
対象部材			
補修・改良理由			
損傷原因			
補修・改良工法			
工事費用(百万)			
適用示方書			
補修補強面積(m ²)			
備考			
項目	内容	損傷概要のわかる図面	損傷概要のわかる写真
補修No.			
補修および改良年			
対象部材			
補修・改良理由			
損傷原因			
補修・改良工法			
工事費用(百万)			
適用示方書			
補修補強面積(m ²)			
備考			
コメント			

橋梁名	路線名	所在地	起点側	緯度			
				経度			
(フリガナ)							
管理者名	点検実施年月日	路下条件	代替路の有無	自専道or一般道	緊急輸送道路	占用物件(名称)	

部材単位の診断(各部材毎に最悪値を記入)

点検時に記録				措置後に記録			
部材名		判定区分 (I~IV)	変状の種類 (II以上の場合に記載)	備考(写真番号、 位置等が分かる ように記載)	措置後の 判定区分	変状の種類	措置及び判定 実施年月日
上部構造	主桁						
	横桁						
	床版						
下部構造							
支承部							
その他							

道路橋毎の健全性の診断(判定区分 I~IV)

点検時に記録		措置後に記録	
(判定区分)	(所見等)	(再判定区分)	(再判定実施年月日)

全景写真(起点側、終点側を記載すること)

架設年次	橋長	幅員

※架設年次が不明の場合は「不明」と記入する。

状況写真(損傷状況)

○部材単位の判定区分がⅡ、Ⅲ又はⅣの場合には、直接関連する不具合の写真に記載の

○写真は、不具合の程度が分かるように添付すること。

<p>上部構造()【判定区分: 】</p>	<p>上部構造()【判定区分: 】</p>
<p>支承部【判定区分: 】</p>	<p>下部構造【判定区分: 】</p>